

一般財団法人 黎明郷

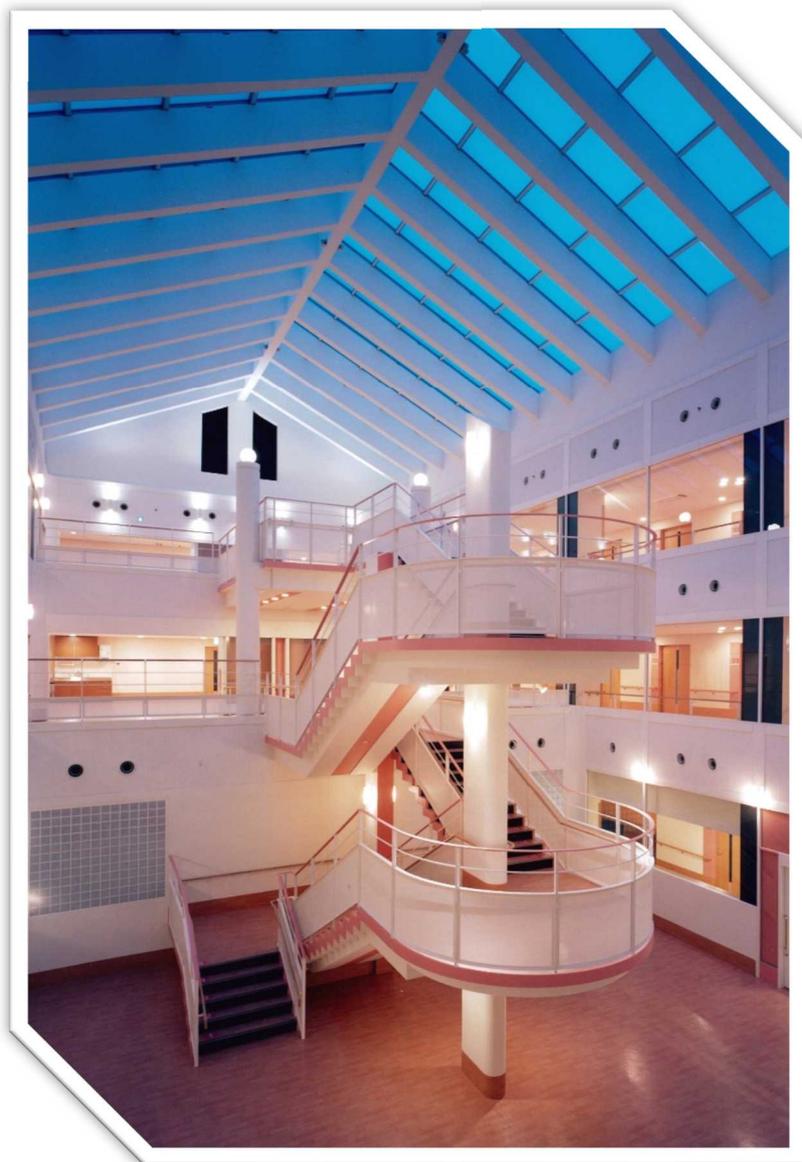
弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

Hirosaki Stroke and Rehabilitation Center

年報

第12号

2024.4~2025.3



# 一般財団法人 黎明郷 理念

質の高い医療・リハビリテーションを実践し

地域社会の保健医療福祉に貢献します

## 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 基本方針

- ◆地域に開かれた病院として脳卒中医療に貢献します
- ◆活発な地域連携（病病連携・病診連携）を展開します
- ◆最新かつ最適な医療とリハビリテーションを提供します
- ◆チーム医療により自立への支援に努めます
- ◆安全に配慮し、快適な入院環境作りを目指します
- ◆最新の脳卒中医療情報を発信します

# 目 次

巻頭言 .....	院長 萩井 護士	1
施設概要・沿革 .....		2
組織図 .....		3
役員名簿（理事・監事） .....		4
評議員名簿 .....		5
職員数 .....		6
診療実績（入院患者数等、検査件数） .....		7
脳ドック・訪問リハビリ実績 .....		9
研修認定施設 .....		10
専門医数 .....		11
実習受入状況 .....		12
財団事業 .....		13
青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会 .....		13
青森県成人・老人リハビリテーション施設協会 .....		15
脳卒中市民公開講座 .....		16
学術報告 .....		17
学会発表 .....		17
論文発表 等 .....		22
委員会報告 .....		23
医療安全管理委員会 .....		23
医療器材管理委員会 .....		30
感染対策委員会 .....		33
栄養管理委員会 .....		37
褥瘡対策委員会 .....		40
臨床検査適正化委員会 .....		43
薬事審議委員会 .....		45
診療記録管理委員会 .....		48
臨床倫理委員会 .....		51
倫理審査委員会 .....		52
衛生委員会 .....		53
部署代表者委員会 .....		56
教育研修委員会 .....		58
施設運用委員会 .....		60
広報委員会 .....		62
患者サービス委員会 .....		63
レクリエーション委員会 .....		69
編集委員 .....		71

## 巻 頭 言

---

### 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 院長 萩 井 謙 士

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター年報第12号（令和6年度）が発刊の運びとなりました。

令和6年は弘前脳卒中センター開設20年目であり、平成23年に碓ヶ関の黎明郷リハビリテーション病院と統合し、現在の弘前脳卒中・リハビリテーションセンターとして診療を開始してから14年目の年でした。また、令和6年3月には日本医療機能評価機構による病院機能評価の本審査を受け、同年7月には、主たる機能種別：リハビリテーション病院、副機能種別：一般病棟1として正式に認定されました。同年10月には機構より受審体験談を発表する機会をいただき、病院機能改善支援セミナーで講演しました。審査に至る過程で多くの職員が職種横断的に連携して一つの目標に向かって努力したことは組織として大きな成果でした。

新型コロナウイルス感染症は令和5年5月に5類感染症となり制限が緩められましたが、令和6年度も病棟・外来で散発的に感染者が発生しました。そのような中で、令和6年10月には当院が事務局を務めている青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会、同年11月には県からの委託事業である青森県高次脳機能障害拠点機関としての研修会も開催されました。また、財団主催の脳卒中市民公開講座も令和6年9月29日、テーマ：「あたらないためのお話」で開催されました。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンターでは、令和6年度も救急紹介患者を断らず、脳卒中類縁疾患も広く受け入れ、回復期リハ病棟の退院調整を積極的に行なうことなどを継続しています。しかし令和6年度は、夏場に病床稼働率が落ち込み、秋になってもなかなか回復しませんでした。冬場は例年通り高稼働を維持したものの、1年を通した病院全体の病床稼働率は90.3%と、前年よりも1.1%低下する結果となりました。リハ提供単位数は例年とほぼ同程度でしたが、令和6年6月の診療報酬改定により、回復期病棟の体制強化加算が廃止されたことなどにより、医業収益に少なからぬ影響を受けました。加えて物価や資材・医療材料費、さらに光熱費の高騰など医業収益をめぐる状況は厳しい1年となりました。そのようななかでも職員一人一人の努力により入院患者数、検査や手術・リハビリ件数など、前年と匹敵する実績を上げたと感じています。令和6年度の年報は、当センターの診療や情報発信の現状を示す指標であるとともに、当院の職員が奮闘した貴重な記録であり当財団の歴史の一部です。

令和6年度も多くの新入職員を迎えることができました。残念ながら令和6年度の新人職員歓迎会、忘年会は中止となりましたが、納涼会は2回に分けて行うことができました。今年度（令和7年度）からは新入職員歓迎会を5年ぶりに開催しています。

急激な少子高齢化による社会構造や医療環境の変化の中で、財団の理念である「質の高い医療・リハビリテーションを実践し、地域社会の保健医療福祉に貢献する」ために、年報を通じてこれまでの歴史から学び、より良い財団の未来に向かって職員と共に進んでいきたいと思えます。

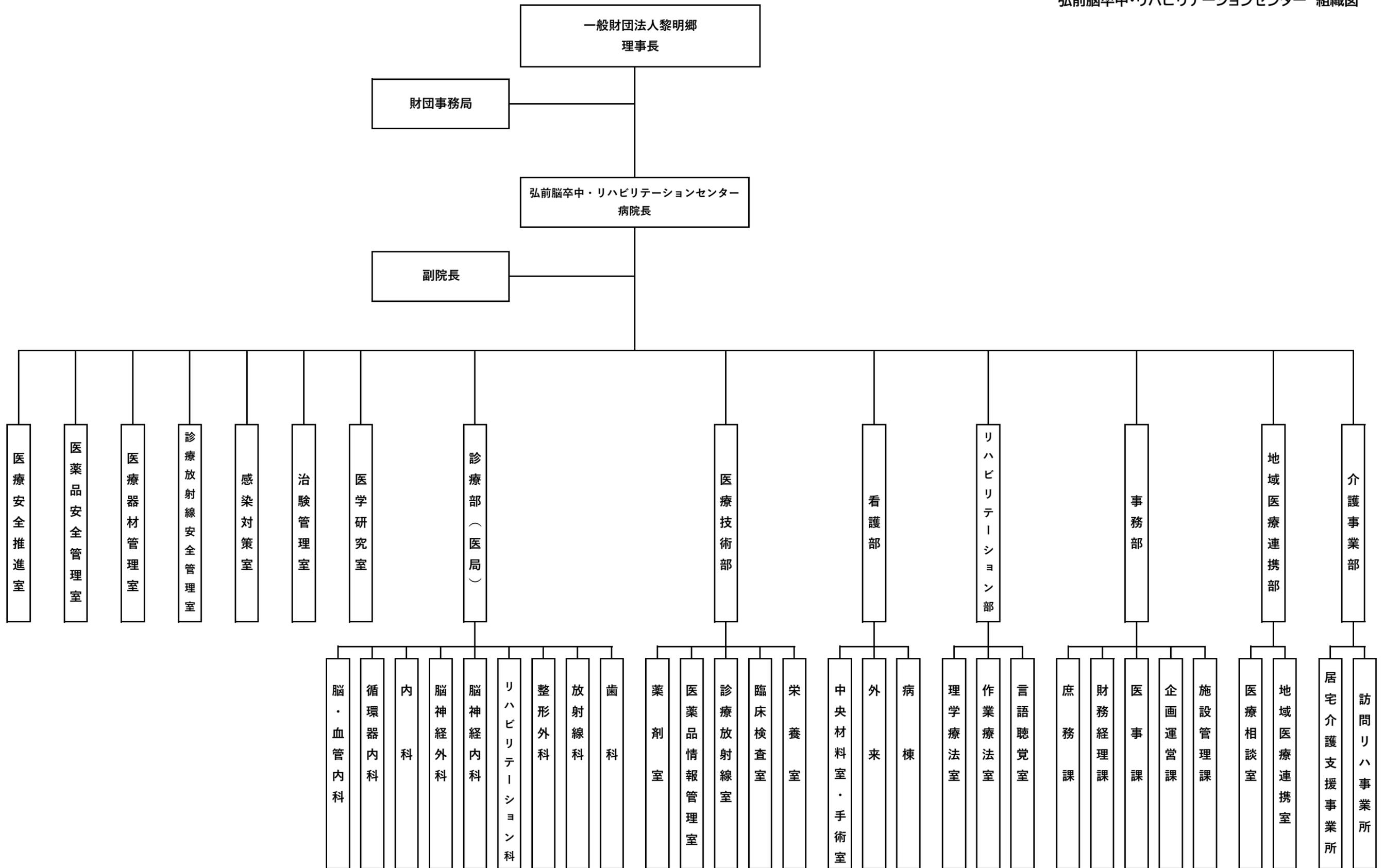
年報を担当した広報委員会の佐々木都子委員長をはじめ、各委員諸氏の労に敬意を表します。

## 施設概要

年 月	内 容
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設（145床） 構造/鉄筋コンクリート造り地上4階 敷地面積 19,872.80 m <sup>2</sup> 建築延面積 11,414.94 m <sup>2</sup> 一般病棟 35床 回復期リハビリテーション病棟 110床 内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科
平成23年 4月	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター開設（名称変更）（248床） 構造/鉄筋コンクリート造り地上4階 敷地面積 25,828.95 m <sup>2</sup> 建築延面積 18,779.76 m <sup>2</sup> 一般病棟 79床 回復期リハビリテーション病棟 169床 内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、歯科
平成25年 4月	診療科目変更 脳・血管内科、循環器内科、内科、脳神経外科、リハビリテーション科、神経内科、放射線科、歯科
令和 2年 6月	診療科目変更 脳・血管内科、循環器内科、内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、神経内科、放射線科、歯科
令和 5年 4月	診療科目変更 脳・血管内科、循環器内科、内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、脳神経内科、放射線科、歯科

## 沿 革

年 月	内 容
昭和41年 4月	青森県知事より財団法人黎明郷の設立認可
昭和41年 7月	碓ヶ関村より診療所の委託を受け診療を開始（10床）
昭和42年 4月	黎明郷リハビリテーション病院開設（60床、昭和57年7月248床）
昭和60年 9月	黎明郷リハビリテーション病院に高血圧センター併設
平成15年 4月	介護老人保健施設つがるを開設（黎明郷リハビリテーション病院に併設）
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設（145床）内科・神経内科・脳神経外科・リハビリテーション科・整形外科
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設に伴い黎明郷リハビリテーション病院（103床）となる
平成23年 4月	弘前脳卒中センターと黎明郷リハビリテーション病院を統合し、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターを開設（248床） 開設に伴い黎明郷リハビリテーション病院は閉院 碓ヶ関診療所（無床）を開設
平成24年 3月	碓ヶ関診療所閉所
平成25年 4月	財団法人から一般財団法人へ移行



役員名簿

令和7年3月31日現在

氏名	所属・職名等
高梨 信吾 (理事)	一般財団法人 黎明郷 理事長
奥村 謙 (理事)	済生会 熊本病院 心臓血管センター 不整脈先端治療部門 最高技術顧問
富田 泰史 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 教授
花田 裕之 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 救急災害・総合診療医学講座 教授
佐々木 真吾 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 准教授
梅村 芳文 (理事)	(医)芳真会 梅村医院 院長
長尾 忠行 (理事)	平川市 市長
山田 年伸 (理事)	大鱈町 町長
谷津 大輔 (理事)	(株)青森銀行 常務執行役員 弘前地区営業本部長
佐藤 陽子 (理事)	元 青森県 環境生活部長
萩井 譲士 (理事)	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 院長
小林 正志 (理事)	一般財団法人 黎明郷 前 事務局長
一戸 治 (監事)	一戸治税理士事務所
鳴海 匠悦 (監事)	(株)青森銀行 執行役員 親方町支店長兼土手町支店長

評議員名簿

令和7年3月31日現在

氏名	所属・職名等
吉岡 利忠	前 学校法人 弘前学院 弘前学院大学 学長
込山 稔	社会福祉法人 藤聖母園 理事
畑山 亨	畑山医院 院長
三尾 佳久	大開ファミリークリニック 院長
葛西 聡	あすなる法律事務所 弁護士
奈良岡 勇造	元 青森県生活環境部 理事
村田 大六	豊田地区町会連合会 会長
鎌田 孝篤	一般財団法人 黎明郷 介護老人保健施設つがる 施設長
清野 聡	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
岩田 学	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
馬場 佳子	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
樋口 三枝子	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 看護部長

職員数

※過去3年分について掲載

職 種	令和4年度	令和5年度	令和6年度
医 師	19	19	17
薬剤師	10	8	10
診療放射線技師	7	8	8
臨床検査技師	8	8	6
理学療法士	73	75	72
作業療法士	72	74	75
言語聴覚士	8	8	8
医療相談員	11	11	11
医療部助手	2	1	1
管理栄養士	5	5	5
看護師	167	161	165
准看護師	17	19	17
看護助手	44	42	39
歯科衛生士	2	2	2
介護支援専門員	2	2	3
事務員	45	47	47
合 計	492	490	486

各年度4月1日現在

診療実績 入院患者数

※過去3年分について掲載

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
延患者数（人）		78,658	81,534	80,677
病床数		248	248	248
病床稼働率（%）		86.9	91.4	90.3
一日平均患者数（日）	一般病棟	61	65	62
	回復期病棟	152	159	160
平均在院日数（日）	一般病棟	19.5	20.1	18.3
	回復期病棟	83.4	89.9	85.7
新患受入件数（件）	a. 救急車	562 (29.9%)	579 (33.6%)	549 (33.1%)
	b. 直接来院	1,318 (70.1%)	1,144 (66.4%)	1,110 (66.9%)
※ c. 救急車受入のうち入院（件） (c/a)		408 (72.6%)	415 (71.7%)	410 (74.7%)
<b>一般病棟指標</b>				
在宅復帰率		78.5%	81.3%	82.3%
医療・看護必要度 重症者割合		21.6%	22.1%	19.0%
<b>回復期リハビリテーション病棟指標</b>				
在宅復帰率		80.8%	84.4%	82.8%
新規入棟患者重症者割合〔A項目〕		— (※)	— (※)	— (※)
新規入棟患者重症者割合〔B項目〕		55.0%	52.8%	49.3%
重症患者回復割合（退棟時）		55.3%	52.5%	54.4%
回復期病棟延患者数（人）		56,153	58,727	58,961
実施リハ単位数		377,776	400,714	396,215
一日一人当たりリハ提供単位数		6.72	6.82	6.72

診療実績 検査・手術件数

※過去3年分について掲載

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
MR I	3,587	3,609	3,389	
C T	3,331	3,501	3,524	
単純C T撮影	3,101	3,259	3,225	
超音波	頰動脈	1,214	1,177	1,035
	心臓	950	988	973
	経食道心臓	113	148	161
	その他	6	5	1
	合計	2,283	2,318	2,170
A B I (脈波)	806	807	770	
ホルター心電図	869	892	820	
血管造影	脳血管造影	25	19	16
	頭頸部血管造影	4	1	1
	大動脈造影	—	0	0
	心臓カテーテル検査	13	11	14
	下肢血管造影	2	6	2
	合計	44	37	33
透視下検査	嚥下造影	42	21	60
	上部消化管造影	—	—	—
	透視のみ	11	5	5
	合計	53	26	65
内視鏡	内視鏡下嚥下機能検査	90	60	27
	内視鏡下胃瘻造設術	—	—	—
	胃瘻交換	—	—	—
	胃・十二指腸ファイバースコープ	—	0	0
	食道ファイバースコープ	1	1	0
	合計	91	61	27
血栓溶解療法 (t-P A)	18	28	29	
頰動脈ステント留置術	12	5	3	
経皮的脳血管形成術	2	0	0	
経皮的脳血栓回収術	11	8	7	
ペースメーカー移植・交換術	3	5	1	
気管切開術	2	2	3	
運動器リハビリテーション	89	84	98	
心大血管疾患リハビリテーション	9	17	18	
脳血管疾患リハビリテーション	1,214	1,197	1,229	
廃用症候群リハビリテーション	38	44	87	
呼吸器リハビリテーション	—	—	1	

脳ドック実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度	3	2	7	13	21	14	20	24	21	17	10	0	152
令和5年度	0	8	4	13	22	14	8	8	6	5	11	10	109
令和6年度	1	3	7	19	20	13	12	15	10	10	3	5	118

※過去3年分について掲載

訪問リハビリ実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度	233	219	256	236	226	227	206	209	209	198	196	234	2,649
令和5年度	203	212	224	211	215	217	231	215	190	183	207	209	2,517
令和6年度	244	275	250	263	232	244	268	264	245	238	249	270	3,042

※過去3年分について掲載

研修認定施設等

	認 定 学 会	認 定 期 間
1	日本脳卒中学会 一次脳卒中センター認定	2019. 9. 1～2021. 3. 31 2021. 4. 1～2022. 3. 31 2022. 4. 1～2023. 3. 31 2023. 4. 1～2024. 3. 31 2024. 4. 1～2025. 3. 31
2	日本脳卒中学会専門医認定制度 研修教育施設	2013. 4. 1～2014. 12. 31 2015. 1. 1～2016. 12. 31 2017. 1. 1～2020. 3. 31 2020. 4. 1～2021. 3. 31 2021. 4. 1～2022. 3. 31 2022. 4. 1～2023. 3. 31 2023. 4. 1～2024. 3. 31 2024. 4. 1～2025. 3. 31
3	日本リハビリテーション医学会認定研修施設	2012. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2022. 3. 31 2022. 4. 1～2027. 3. 31
4	日本臨床栄養代謝学会NST稼働認定施設 (旧:日本静脈経腸栄養学会)	2014. 4. 1～2019. 3. 31 2019. 4. 1～2029. 3. 31
5	日本高血圧学会専門医認定施設	2012. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2022. 3. 31 2022. 4. 1～2024. 3. 31 2024. 4. 1～2029. 3. 31
6	日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設	2013. 4. 1～2015. 3. 31 2015. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2019. 3. 31 2019. 4. 1～2021. 3. 31 2021. 4. 1～2023. 3. 31 2023. 4. 1～2025. 3. 31

専門医数

単位：人

資 格	計
日本呼吸器学会呼吸器専門医	1
日本アレルギー学会専門医	1
日本循環器学会認定循環器専門医	5
日本内科学会総合内科専門医	6
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医	5
日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医	1
日本脳神経血管内治療学会認定専門医	1
日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医	3
合 計	23

令和7年3月31日現在

※合計は延べ人数

## 実習受入状況

※過去3か年分について掲載

令和4年度	医局	看護部	リハビリテーション部				栄養室	事務	全体
			P T	O T	S T	M S W			
延件数 (単位:件)	35	144	42	33	49	2	2	6	313
延人数 (単位:人)	390	682	278	752	183	46	10	16	2357

令和5年度	医局	薬剤室	看護部	リハビリテーション部				栄養室	歯科 衛生士	事務	全体
				P T	O T	S T	M S W				
延件数 (単位:件)	34	1	147	37	29	62	1	2	12	7	332
延人数 (単位:人)	415	52	1063	332	567	206	12	10	24	17	2698

令和6年度	医局	薬剤室	看護部	リハビリテーション部				栄養室	歯科 衛生士	事務	全体
				P T	O T	S T	M S W				
延件数 (単位:件)	12	3	136	47	29	42	3	2	0	6	280
延人数 (単位:人)	247	158	858	297	629	227	58	30	0	12	2516

財団事業(青森県委託事業)  
青森県高次脳機能障害支援拠点機関  
令和6年度事業活動報告

1. 青森県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業検討委員会

開催日時：令和6年7月19日(金) 17:30～

開催場所：アウガ 5階 男女共同参画プラザ カダール 研修室

出席者：14名

案件

1. 支援拠点機関報告

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

メディカルコート八戸西病院

2. 意見交換

2. 青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会

開催日時：令和6年9月7日(土) 13:00～15:50

開催場所：アウガ 5階 男女共同参画プラザ カダール AV多機能ホール

参加者：66名 ※他、WEB視聴74名

1) 講演

『高次脳機能障害の当事者とご家族への心理支援』

栃内第二病院 リハビリテーション部 副部長

公認心理士 山館 圭子 先生

『仲間づくりをベースにした失語症のある人の地域支援

～地域に根ざして、そして地域を超えて～』

デイサービス・就労サポート 言葉のかけ橋 代表

言語聴覚士 佐藤 誠一 先生

2) その他

拠点機関支援コーディネーターによる医療福祉相談を同時開催

3. 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター研修会

開催日時：令和6年11月16日(土) 10:00～11:35

開催場所：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 大会議室

参加者：18名

テーマ：『当院における高次脳機能障害の方への自動車運転再開支援』

講演

『運転に必要な機能と当院での運転評価について』

言語聴覚士 盛 亨子 先生

『自動車運転シミュレーターについて』

作業療法士 齋藤 曜子 先生

『退院後の自動車運転再開について』

リハビリテーション科部長 医師 中村 太源 先生

4. 相談件数

令和6年度 相談件数	相談者		
	本人	家族	その他
	10	18	12
就労支援	0	0	0
診断・治療	9	13	6
支援体制・家族会	0	3	2
その他	1	2	4

財団事業(事務局)

青森県成人・老人リハビリテーション施設協会

令和6年度事業活動報告

青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会

開催日時：令和6年10月26日(土) 15:30～16:30

開催場所：リンクステーションホール青森 5階 大会議室

参加者：26名 ※他、WEB視聴25名

講演

『脳卒中・心臓病等総合支援センターの概要』

青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター  
センター長 富田 泰史 先生

『脳卒中・心臓病等総合支援センターの取り組みと今後の課題』

青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター  
社会福祉士 佐藤 誠人 先生

財団事業(主催)  
脳卒中市民公開講座  
令和6年度事業活動報告

「脳卒中市民公開講座2024」

開催日時：令和6年9月29日（日）14：00～16：00

開催場所：弘前市民文化交流館 大ホール（ヒロロ4階）

参加者：79名

テーマ：『ためになる！「あたらない」ためのお話し』

1) 講演

『フレイルについて一緒に学びましょう』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

理学療法士 山本 賢雅 先生

『脳ドックについて』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

リハビリテーション科部長 医師 中村 太源 先生

『その症状、脳卒中?!』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

内科医師 目時 典文 先生

2) パネルディスカッション

3) その他

講師による個別相談会、病院スタッフによる相談コーナーの設置など

学会・研究発表（計58題）

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和6年4月17日	診断のその先へ～ILRの活用～ （日本メドトロニック） （web開催）	脳梗塞再発予防におけるILRの役割	齋藤 新
令和6年4月19日	Ondexxya Experience Sharing in Aomori （アストラゼネカ） （web開催）	アンデキサネットアルファを必要とする脳出血とは ～内科医の立場から～	齋藤 新
令和6年5月18日 ～5月19日	第35回青森県作業療法学会（青森市）	重度両麻痺と発声障害を呈した脳卒中患者に対し、代償手段の活用により要望の伝達が可能になった事例	鳴海 さつき 他
令和6年5月18日 ～5月19日	第35回青森県作業療法学会（青森市）	脳卒中後の重度片麻痺患者に対し機能回復経過に基づく動作方法の変更により調理動作獲得に至った事例	大郷 泰河 他
令和6年5月18日 ～5月19日	第35回青森県作業療法学会（青森市）	病状の認識に合わせた合意目標の設定により訓練に主体的に参加できた事例 ～同名半盲と注意障害を呈した事例の経験～	馬道 夏奈 他
令和6年6月1日	第178回日本循環器学会東北地方会 東北支部社員 総会・評議委員会 （弘前市）	肺静脈隔離術後における発作性心房細動の再発を植込み型心臓モニタにより確認し得た一例	齋藤 新 他
令和6年6月16日	一般社団法人青森県作業療法士会 2024年度現職者共通研修 （web開催）	作業療法における協業・後輩育成	算用子 暁美
令和6年6月20日	一般社団法人青森県作業療法士会 2024年度基礎研修会 （web開催）	事例のみかた・事例報告書き方講習会 第2回「事例検討と討論」	金谷 圭子
令和6年6月22日 ～6月23日	日本病院薬剤師会東北ブロック第13回学術集会 （八戸市）	ケアミックス病院における回復期リハビリテーション病棟での薬剤業務とアドヒアランス不良の自宅退院者へ薬剤管理サマリーを用いて連携した一例	清藤 一輝
令和6年6月22日 ～6月23日	日本病院薬剤師会東北ブロック第13回学術集会 （八戸市）	タゾバクタム/ピペラシリンのDOT増加と緑膿菌感受性低下に対する当院の取り組み	三浦 慶己
令和6年6月22日 ～6月23日	日本病院薬剤師会東北ブロック第13回学術集会 （八戸市）	副作用データの収集と活用方法の模索	世永 壮
令和6年7月13日 ～7月14日	第34回東北作業療法学会（秋田市）	脳卒中後右手指に限局する麻痺を呈した症例に対し自主訓練の質に着目して行った介入が奏功した一例 ～包丁操作獲得に向けて～	大黒谷 菜月 他
令和6年7月13日 ～7月14日	第34回東北作業療法学会（秋田市）	疼痛の軽減による離床機会の増加がニーズの拡大に繋がった一症例	長尾 朋佳 他

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和6年7月16日	令和6年度第1回大鰐町介護支援専門員情報交換会 (大鰐町)	訪問リハビリテーション ～作業療法士ができること～	金谷 圭子
令和6年7月18日	一般社団法人青森県作業療法士会 脳卒中痙縮セミナー (帝人ヘルスケア) (弘前市)	当院における痙縮治療と作業療法士の関わり	算用子 暁美
令和6年7月21日	一般社団法人青森県作業療法士会 2024年度現職者選択研修 (五戸町)	生活行為向上マネジメント基礎研修	今井 寛人
令和6年7月25日 ～7月27日	第39回日本環境感染学会 総会・学術集会 (京都市)	TAZ/PIPCによる急性腎不全のため、SBT/CPZIに 薬剤変更後生じた血液凝固障害の1例	三浦 慶己 他
令和6年7月25日 ～7月27日	第39回日本環境感染学会 総会・学術集会 (京都市)	カルバペネム系抗菌薬の特定抗菌薬使用届け出 制導入後10年間のカルバペネム系抗菌薬と TAZ/PIPCの使用量の変化と耐性化動向	花田 和大 他
令和6年8月22日	Ondexxya Experience Sharing in HACHINOHE (アストラゼネカ) (web開催)	アンデキサネットアルファを必要とする脳出血 とは ～内科医の立場から～	齋藤 新
令和6年8月24日 ～8月25日	第5回日本脳神経内科血管 治療研究会 (福岡市)	繰り返すPlaque Protrusionにプラーク安定化 の重要性を再認識させられた頸動脈ステント留 置術の一例	齋藤 新 他
令和6年8月30日 ～9月2日	ESC Congress 2024 London (ロンドン)	Association between lipoprotein-associated phospholipase A2 gene Val279Phe homozygous genotypes and variant angina in Japanese women	岩崎 俊浩 他
令和6年9月4日	一般社団法人青森県作業療法士会 2024年度基礎研修会 (web開催)	MTDLP事例のみかた・事例報告書き方講習会 第2回「MTDLP事例の事例報告のポイント」	金谷 圭子
令和6年9月7日 ～9月8日	第42回東北理学療法学術 大会 in 青森 (青森市)	脳出血モデルマウスに対する自発的および強制的 走行に伴うストレスとBDNFが機能回復に及ぼ す影響	布村 倫仁 他
令和6年9月9日	Assert-IQ™ Conference for ESUS 2024 (アボットメディカル ジャパン) (web開催)	ESUS管理に対するICMの有用性と当院での活用 の現状	齋藤 新
令和6年9月25日	一般社団法人青森県作業療法士会 2024年度基礎研修会 (web開催)	脳血管障害に対する作業療法	住吉 佳奈子

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和6年9月26日	“今こそ考える”アスピレーションカテーテルの活かし方-細径“41”を加えたSALVAシリーズの実力-(盛岡市)	“今こそ考える”アスピレーションカテーテルの活かし方	齋藤 新
令和6年9月28日 ～9月29日	第22回日本神経理学療法学会学術大会(福岡市)	屋内外独歩自立に向けて内乱を用いたReactive Balance Trainingを実施した左被殻出血の1症例	齋藤 祐希 他
令和6年9月28日 ～9月29日	第22回日本神経理学療法学会学術大会(福岡市)	後進歩行の快適速度知覚に関する床上とトレッドミル上移動との差異について	田口 惇 他
令和6年9月28日	第54回日本腎臓学会東部学術大会(宇都宮市)	腎移植後に発症したIgA腎症に対し扁桃腺摘出とステロイドパルス療法が奏功した2症例	川向 真徳文 他
令和6年10月3日 ～10月4日	リハビリテーション・ケア合同研究大会 山梨2024(甲府市)	「一人暮らしの家に帰りたい」という80代の脳梗塞患者と地域住民との関わりが支援の一助となった一例	藤川 歩実 他
令和6年10月3日 ～10月4日	リハビリテーション・ケア合同研究大会 山梨2024(甲府市)	若年性脳卒中患者の在宅生活の確立とQOLの向上に至った一例 ～医療保険制度を利用した訪問リハビリテーションの実践経験～	猪股 良之 他
令和6年10月3日 ～10月4日	リハビリテーション・ケア合同研究大会 山梨2024(甲府市)	若年性脳卒中患者の在宅生活の確立とQOLの向上に至った一例 その1 ～回復期から在宅リハビリテーションへの移行～	宮木 詩織 他
令和6年10月3日 ～10月4日	リハビリテーション・ケア合同研究大会 山梨2024(甲府市)	ステップトレーニングから動的なバランストレーニングに移行し、歩行・階段昇降・入浴の自立に繋がった両側被殻出血の一例	吉川 真宙 他
令和6年10月3日 ～10月4日	リハビリテーション・ケア合同研究大会 山梨2024(甲府市)	多機関との連携を通してチームアプローチの難しさを感じた事例	宇佐美 夏希 他
令和6年10月3日 ～10月4日	リハビリテーション・ケア合同研究大会 山梨2024(甲府市)	オンラインを利用した救急医療情報ネットワーク会議による地域の医療連携強化の取り組み	一戸 智沙都 他
令和6年10月4日	第13回青森県急性期脳梗塞血管内治療ネットワーク(A-NET)研究会(大塚製薬)(弘前市)	脳卒中内科医の急性期診療 ～ARNIの役割～	齋藤 新
令和6年10月12日 ～10月14日	第46回日本高血圧学会総会(福岡市)	くも膜下出血を契機に多彩な合併症を呈した褐色細胞腫の1例	白戸 弘志
令和6年10月17日	公益財団法人日本医療機能評価機構 2024年度病院機能改善支援セミナー【総合】(東京都千代田区)	受審病院体験談 ～病院機能評価を受審して～	萩井 讓士 今 基

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和6年10月25日	LEQVIO WEB Symposium ~ Long-acting PCSK9産生阻害薬~ (ノバルティスファーマ) (青森市)	脳血管領域における内科治療の重要性 ~PCSK9産生阻害薬の役割~	齋藤 新
令和6年10月28日	世界脳卒中デーに降圧医療を考える (大塚製薬) (弘前市)	地域で考える脳卒中発症と血圧管理 ~ARNI使用経験からの考察~	齋藤 新
令和6年11月1日	弘前市医師会病診連携懇談会 (弘前市)	急性期脳卒中診療 弘前地区における当院の現状と取り組み	齋藤 新
令和6年11月1日	弘前市医師会病診連携懇談会 (弘前市)	脳卒中のリハビリテーション	岩田 学
令和6年11月1日	弘前市医師会病診連携懇談会 (弘前市)	弘前脳卒中・リハビリテーションセンターの概要	萩井 讓士
令和6年11月6日 ~11月8日	第8回アジア太平洋作業療法学会 (札幌市)	Characterisitcs and associated factors of body composition changes in acute stroke patients - Preliminary study using the body composition analyzer with bioelectrical impedance analysis (BIA)	今井 寛人 他
令和6年11月6日 ~11月8日	第8回アジア太平洋作業療法学会 (札幌市)	The importance of sharing goals with patients and occupational therapists - A case of subacute stroke patient whose shared goals led to proactive rehabilitation	馬道 夏奈 他
令和6年11月6日	医療・介護関連現場ニーズ・技術シーズ交流会 (青森市)	車椅子フィッティング用椅子	布村 倫仁
令和6年11月25日	第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 (熊本市)	繰り返すPlaque Protrusionにプラーク安定化の重要性を再認識させられた頸動脈ステント留置術(CAS)の一例	齋藤 新
令和6年12月2日	第14回青森県急性期脳梗塞血管内治療ネットワーク(A-NET)研究会 (第一三共) (青森市)	心房細動の薬物治療に関する新たな課題 ~不整脈治療フォーカスアップデート2024より~	齋藤 新
令和6年12月13日	一般社団法人青森県作業療法士会 2024年度地域社会振興部関連研修会 (web開催)	地域包括ケアシステム推進ベーシック研修会 ~対象者の地域生活への支援~ 「対象者の地域生活を捉える視点について」	金谷 圭子
令和6年12月17日	令和6年度青森県医療者講演会 (web開催)	脳卒中の回復期リハビリテーション	馬場 佳子
令和7年1月27日	脳卒中フォーラム~青森エリアの血圧管理を考える~ (大塚製薬) (web開催)	青森県の脳卒中を克服する血圧管理 ~厳しい冬を乗り越えるために~	齋藤 新
令和7年1月29日	第112回青森県病医薬剤師会弘前地区研修会 (弘前市)	病院機能評価で求められる院外処方疑義照会の把握と薬剤管理サマリーを用いた退院後の服薬支援連携	鳥谷部 翔

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和7年2月17日	青森県病院薬剤師会弘前支部研修会 全身性抗菌薬を考える会 (Meiji Seikaファルマ) (弘前市)	当院での抗菌薬適正使用に対する取り組みについて	三浦 慶己
令和7年2月21日 ～2月22日	回復期リハビリテーション病棟協会 第45回研究大会 in 札幌 (札幌市)	互いに身体機能障害を持つ高齢夫婦への介助指導 ～妻の不安が軽減し、自宅退院に至った一例～	奥村 誼大 他
令和7年2月21日 ～2月22日	回復期リハビリテーション病棟協会 第45回研究大会 in 札幌 (札幌市)	ポリオ後遺症を合併した脳卒中片麻痺患者が長下肢装具を再作製し移動能力が向上したことで復職を果たした一例 ～もう一度働きたいを考える～	村田 聡美 他
令和7年2月27日	LEQVIO WEB Symposium ～脳血管疾患の脂質管理を考える～ (ノバルティスファーマ) (弘前市)	脳血管領域における脂質管理の重要性	齋藤 新 他
令和7年3月8日	STROKE2025 (大阪市)	抗凝固薬服用下脳内出血の予後とCode ICHならびにAcute Care Bundlesの実情	齋藤 新
令和7年3月28日 ～3月30日	第89回日本循環器学会学術集会 (JCS2025) (横浜市)	Induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes as an experimental model of dilated cardiomyopathy	岩崎 俊浩

論文・雑誌等掲載（計14題）

年 月	雑 誌 名	発 表 演 題	発 表 者
令和6年6月	臨床雑誌内科 Vol. 133 (6) (P. 1306-1309)	特集 脳卒中かもしれない! [Chapter 5]脳卒中かもしれないけれど…… 失神および心疾患	齋藤 新
令和6年6月	青森県立中央病院医誌 Vol. 69 (2) (P. 47-51)	繰り返す気胸と家族歴, 皮疹により診断された Birt-Hogg-Dube症候群の一例	楠原 史章 岩崎 俊浩 他
令和6年7月	日本病院薬剤師会雑誌 Vol. 60 (7) (P. 777-782)	一般社団法人日本病院薬剤師会療養病床委員会 薬剤管理サマリーの利活用に関するアンケート 結果報告	澁田 憲一 鳥谷部 翔 他
令和6年9月	弘前市医師会報 Vol. 59 (5) (P. 1-5)	巻頭言： 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 院長就任に際してのご挨拶	萩井 讓士
令和6年9月	弘前市医師会報 Vol. 59 (5) (P. 41-47)	特別講演Ⅱ 脳卒中と神経障害性疼痛の治療戦略	齋藤 新
令和6年11月	第4版 リハ実践テクニック 脳卒中 (P. 42-45)	Ⅱ 診察と運動・動作評価 リハビリテーションで行う問診と診察	岩田 学
令和6年11月	第4版 リハ実践テクニック 脳卒中 (P. 46-72)	Ⅱ 診察と運動・動作評価 神経学的検査	岩田 学
令和6年11月	第4版 リハ実践テクニック 脳卒中 (P. 73-78)	Ⅱ 診察と運動・動作評価 整形外科的診察	岩田 学
令和6年11月	第4版 リハ実践テクニック 脳卒中 (P. 194-197)	Ⅲ リハビリテーションの実際 B 高次脳機能障害の治療介入 症状・介入方法の留意点	算用子 暁美
令和6年11月	第4版 リハ実践テクニック 脳卒中 (P. 280-284)	Ⅲ リハビリテーションの実際 D 動画・画像で見る具体的な治療法 ロボット治療 (2) ReoGo-J	渡部 清寛
令和6年11月	第4版 リハ実践テクニック 脳卒中 (P. 290-293)	Ⅲ リハビリテーションの実際 D 動画・画像で見る具体的な治療法 VR・AR活用	田口 惇
令和6年11月	第4版 リハ実践テクニック 脳卒中 (P. 294-299)	Ⅲ リハビリテーションの実際 D 動画・画像で見る具体的な治療法 電気刺激療法	山本 賢雅
令和6年11月	In Vivo Vol. 38 (6) (P. 3078-3084)	Impact of triglyceride levels on the long- term clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction	加藤 和史 岩崎 俊浩 富田 泰史 他
令和7年2月	青森県作業療法研究 Vol. 33 (1) (P. 39-42)	症例報告： 重度上肢麻痺を呈した回復期脳卒中患者に対し て生活での具体的な麻痺手の使用場面および自 主訓練の指導により、生活場面での麻痺手使用 に対する満足度が向上した症例	松橋 聖華 対馬 大樹 住吉 佳奈子 算用子 暁美 他

# 医療安全管理委員会

## 1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医療安全管理体制を確立し、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法について、指針を示すことにより、適切な医療安全管理を実践し、患者様へ安全な医療を提供することを目的とする。

## 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長 萩井 譲士 (病院長)  
 副委員長 樋口 三枝子 (看護部長)  
 藤田 尚子 (医薬品情報室副室長) ※  
 委員 馬場 佳子 (副院長・医療安全推進室室長) ※  
 岩田 学 (診療部長・副院長代行)  
 佐々木 都子 (内科部長・リハビリテーション部部長)  
 算用子 暁美 (リハビリテーション部技師長)  
 野沢 正人 (事務部長)  
 立林 修 (事務部次長・庶務課長代行)  
 千葉 順子 (看護師長・医療安全推進室副室長) ◆  
 鳥谷部 翔 (医薬品安全管理責任者) ※

※医療安全推進室 (兼務)  
 ◆専従医療安全管理者

## 3. 委員会等開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月17日	3月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングから、新入職員へ離床センサー勉強会について 令和6年度新入職員医療安全研修会報告 3月分医薬品副作用などの報告：27件 3月分疑義照会：76件 (院内：59件、院外：17件)
2	令和6年5月22日	4月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングの報告 令和5年度の年間インシデント・アクシデント報告 令和5年度医療安全業務改善評価と令和6年医療安全改善計画書報告

回	開催日	内容
2	令和6年5月22日	緊急時対応（患者急変：コードブルー・院内暴力：コードホワイト） について リネンの事案について 4月分医薬品副作用などの報告：78件 4月分疑義照会：56件（院内：43件、院外：13件）
3	令和6年6月19日	5月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングの報告 緊急時対応（患者急変：コードブルー・院内暴力：コードホワイト） の体制が承認 リネン管理事案調査の進捗状況について 5月分医薬品副作用などの報告：66件 5月分疑義照会：74件（院内件：52、院外件：22）
4	令和6年7月17日	6月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングの報告 令和6年度第1回医療安全研修会（全職員対象）について リネン管理事案の対応策について 6月分医薬品副作用などの報告：44件 6月分疑義照会：47件（院内：44件、院外：3件）
5	令和6年8月21日	7月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングの報告 令和6年度第1回医療安全研修会結果報告 医療安全管理指針の一部改定について 自主退院に関する誓約書について 7月分医薬品副作用などの報告：46件 7月分疑義照会：86件（院内件：73、院外：13件）
6	令和6年9月18日	8月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングの報告 急変時対応研修（全職員対象）について コードブルー訓練について 災害対策マニュアルについて 8月分医薬品副作用などの報告：51件 8月分疑義照会：65件（院内：51件、院外：14件）

回	開催日	内容
7	令和 6 年 10 月 16 日	9 月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングの報告 コードブルー訓練結果報告 医療安全地域連携相互点検について 9 月分医薬品副作用などの報告：31 件 9 月分疑義照会：56 件（院内：41 件、院外：15 件）
8	令和 6 年 11 月 20 日	10 月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングの報告 医療安全地域連携相互点検について 無断離棟・離院マニュアル案について 10 月分医薬品副作用などの報告：35 件 10 月分疑義照会：65 件（院内件：44、院外：21 件）
9	令和 6 年 12 月 18 日	11 月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングの報告 医療安全地域連携相互点検について 時間外出入口無断離院対策（セキュリティー錠設置）について 11 月分医薬品副作用などの報告：29 件 11 月分疑義照会：97 件（院内：72 件、院外：25 件）
10	令和 7 年 1 月 22 日	12 月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングの報告 医療安全地域連携相互点検について 12 月分医薬品副作用などの報告：35 件 12 月分疑義照会：89 件（院内：60 件、院外：29 件）
11	令和 7 年 2 月 19 日	1 月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングの報告 急変時対応 BLS 研修の結果報告 令和 6 年度 第 2 回 医療安全研修会(全職員対象) について 1 月分医薬品副作用などの報告：45 件 1 月分疑義照会：85 件（院内：61 件、院外：24 件）

回	開催日	内容
12	令和 7 年 3 月 19 日	2 月分インシデント・アクシデント報告 医療事故報告書まとめ 院内巡視報告 転倒転落ワーキングから報告 令和 6 年度 第 2 回 医療安全研修会結果報告 無断離棟・離院マニュアルと院内緊急時コールの改定について 2 月分疑義照会：104 件（院内：69 件、院外：35 件）

医療安全研修会/訓練

項目	開催日	内容
第 1 回 医療安全研修 全職員	令和年 6 月 24 日～ 7 月 7 日 *電子カルテによる学習研修会	<医療安全研修> 誤認防止について <医療ガス安全管理研修> 医療酸素ガスの取り扱いについて <診療用放射線安全研修> 診療用放射線と MRI の安全利用 ・期間内参加：484 名 参加率 92%
第 2 回 医療安全研修 全職員	令和 7 年 2 月 17 日～ 3 月 2 日 *電子カルテによる学習研修会	<医療安全研修会> 心理的安全性と医療安全 <医薬品安全管理研修会> 今年度の医薬品インシデント事例を振り返る ・期間内参加：457 名 参加率 92%
新人研修 全職種	令和 6 年 4 月 1 日	医療安全研修 「リスクマネジメント KYT 式」
新人研修 看護部	令和 6 年 4 月 3 日	医療安全研修 「医療安全」
急変時対応研修 指導者養成 (看護部、リハビリ部、 放射線技師)	令和 6 年 8 月 26 日、27 日、29 日	令和 6 年度 急変時対応指導者研修 ・指導者 28 名を養成
急変時対応研修 全職員	令和 6 年 9 月 9 日～ 12 月 27 日	令和 6 年度 急変時対応研修 外来・各病棟フロアで、全職員へ急変時対応研修 ・期間内参加：420 名 参加率：92.5%
コードブルー訓練 医師・看護師・リハビリ スタッフ・事務員	令和 6 年 9 月 27 日	緊急事態発生時の対応「コードブルー訓練」

定時院内巡視

開催日	場所	内容
令和 6 年 4 月 18 日	1 病棟	与薬・注射ミキシングの手順 患者誤認 環境
令和 6 年 5 月 21 日	2 病棟	与薬・注射ミキシングの手順 患者誤認 環境
令和 6 年 6 月 20 日	3 病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和 6 年 7 月 22 日	4 病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和 6 年 8 月 15 日	5 病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和 6 年 9 月 19 日	外来・正面玄関	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携
令和 6 年 10 月 17 日	臨床検査室	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携
令和 6 年 11 月 21 日	診療放射線室	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携
令和 6 年 12 月 23 日	リハビリ室	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携
令和 7 年 1 月 16 日	栄養室・厨房	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携
令和 7 年 2 月 20 日	薬剤室	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携
令和 7 年 3 月 21 日	事務室・SPD	患者誤認 作業環境の整理・整頓 他部署と連携

臨時巡視

日時	場所	内容
令和 6 年 5 月 15 日	外来, 1, 3, 4, 5 病棟	リネン庫施錠状況と鍵管理
令和 6 年 5 月 24 日	外来, 1, 3, 4, 5 病棟	救急カート管理状況、向精神薬の管理状況
令和 6 年 5 月 30 日	5 病棟	同病室の同姓・同名患者状況と環境
令和 6 年 8 月 ～10 月 (毎週)	1, 3, 4, 5 病棟	リネン庫施錠状況と鍵管理
令和 6 年 11 月 (隔週)	1, 3, 4, 5 病棟	リネン庫施錠状況と鍵管理

4. 活動要約

- ・インシデント・アクシデント事例の分析・再発防止の検討
- ・医療安全管理に関する全般事項の調査・報告・審議
- ・医療事故防止のための提言
- ・医薬品副作用の報告
- ・疑義照会の報告
- ・インシデント・アクシデントレポートの収集  
インシデント・アクシデント事例を分析し、結果を現場へフィードバック
- ・院内ラウンド  
定期的な院内ラウンドにより安全な作業環境、ルール・マニュアル遵守状況の把握  
病棟内に、同姓・同名患者がいる際、臨時で誤認防止のため環境調査
- ・医療安全対策地域連携相互点検  
医療安全対策の現状について連携する病院間で意見交換及び評価することで、医療安全対策の標準化・質向上を図る  
令和 6 年 11 月 15 日 (金) 板柳中央病院を訪問

令和6年12月13日（金）健生病院が当院を訪問、

令和7年1月17日（金）当院が健生病院を訪問

・医療安全研修会（年2回開催）：全職員対象（委託職員含む）

第1回 医療安全研修会（電子カルテ端末と資料での学習研修）

- 医療ガス研修会 <医療酸素ガスの取り扱いについて>
- 診療用放射線安全研修会 <診療用放射線とMRIについて>
- 医療安全研修 <誤認防止について>

令和6年6月24日～7月7日の期間内、参加予定者528名中（産休・育休・病欠を除く）484名参加、参加率：92%

医療ガス、診療用放射線とMRIは、安全な医療を提供するために、直接的な業務に従事している職種や部署だけではなく、医療現場で働く全てのスタッフが安全に関心を持ち実践していくことが必要である。また、基本的確認手順が徹底・遵守されていないことで誤認事故は発生するため、医療安全対策の基本となる「誤認防止」に取り組む必要がある。

第2回 医療安全・医療安全医薬品研修会（電子カルテ端末と資料での学習研修）

- 医薬品安全研修 <今年度の医薬品インシデント事例を振り返る>
- 医療安全研修 <心理的安全性と医療安全>

令和7年2月17日～3月2日の期間内、参加予定者496名中（産休・育休・病欠を除く）457名参加、参加率：92%、

今年度のインシデント・アクシデント報告より、医薬品に関する事例が複数あり事例の振り返りと共に自身を振り返ることができた内容である。また事例の対策として「情報共有」「報告・連絡・相談」があり、職種間で良好なコミュニケーションを図ることができれば、心理的に安全であり医療安全にもつながる。医療現場で働く全てのスタッフが安全に関心を持ち実践していくことが必要である。

・急変時対応研修会

- 急変時対応指導者養成研修 令和6年8月26.27.29日（3日間）指導者28名養成
- 急変時対応研修：全職員対象 令和6年9月9日～12月27日（約4ヵ月間）

期間内参加予定者454名中（学生・アルバイト・産休・育休・病欠を除く）420名参加、参加率：92.5%、

指導者養成後、全職員へ横断的にチームで対応できるように、外来・各病棟フロアで指導者が中心となり全職員へ急変時対応研修を行うという企画を立て実施し、「一人一人が急変時に適切なCPR対応が出来る。BLSに則り、AED、蘇生人形、Q-CPRを用い、個々の技術評価を実施し、CPRの一連の流れを習得する。」という目的は達成できた。今研修は必要不可欠な研修である。

・緊急事態発生時の対応「コードブルー訓練」

令和6年9月27日（午後）訓練参加実働者：医師・看護師・リハビリスタッフ・事務員。

内容：急変患者発見から、コードブルー依頼、コードブルー発生院内放送、発生場所に集合するまでの一連の流れである。院内回覧では、令和6年9月24日・25日・26日・27日のいずれかの午後とし、発生場所の詳細に関しては、シークレットとして実施。

結果、急変患者発見から発生場所に集合した時間は約4分44秒、コードブルー発生院内放送から発生場所に集合した。時間は約3分57秒、当日の日勤勤務医師12名中（院長を除く）、発生場所に集合した医師は9名と各病棟から選出された看護師は5名が集合し、うち1番目に到着した看護師は院内放送後1分程であった。今後も緊急事態発生時には、いつでも誰でも対応できる体制づくりの構築を図り備えていく。

## 【令和6年度 まとめ】

令和6年度、延べ入院患者総数 80,677 名(前年度 81,534 名)、入院患者総数(予定入院含)は 1,289 名(前年度 1,240 名)である。昨年度と比較し今年度は、インシデント・アクシデントのレポート総件数は、638 件から 666 件へと増加した。昨年度と比較し入院患者総数の増加と患者層の高齢化に伴う認知力の低下により、危険と認識できないことも要因のひとつにあると考える。患者誤認では、第1回の医療安全研修テーマに挙げたことにより、3ヵ月は患者誤認 0 件を維持していたが、その後発生し昨年度より 2 件増加となった。要因より患者誤認は、照合確認がされていない事で発生するため、決められたルールの厳守が必須である。またインシデント 0 レベルは、徐々に増加の兆しを見せており、病院機能評価受審をきっかけに令和5年9月から疑義照会を実施した。疑義照会は患者の安全を守ることに関与している。

今後も患者とスタッフの安全を守るため、部署リスクマネージャーと連携しながらマニュアル・ルールの遵守と 5S 活動・KYT を推進しスタッフの教育・指導に努めていき、安心できる環境を構築していきたいと考えている。

# 医療器材管理委員会

## 1. 活動目的

本委員会は、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける診療材料及び診療に必要な医療機器（以下「医療材料等」という。）の安全採用、死蔵化の防止、その他使用の効率化及び医療材料等の試用に関する事項を審議し、病院運営の健全化を図ることを目的とする。

## 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長	清野 聡	(副院長・医療器材管理室長・医療機器安全管理者)
委員	齋藤 新	(内科部長)
	佐藤 奈奈	(医療器材管理副室長・副看護部長)
	千葉 順子	(医療安全推進室副室長・看護師長)
	村上 朋子	(感染対策室副室長・看護師長)
	山本 賢雅	(理学療法室長)
	菊池 真	(企画運営課主任)
	桑田 武人	(企画運営課長)

## 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年5月23日	第1回未開催のため第2回開催時に報告 医療機器・消耗品申請について審議 人工呼吸器 SERV0-air メンテナンス実施について報告 上肢ロボット型運動訓練装置 ReoGo-J 点検について報告 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告 PICC キット不具合品について報告 令和6年度医療器材管理委員会メンバーについて報告
2	令和6年5月23日	医療機器・消耗品申請について審議及び結果報告 超音波診断装置更新の進捗状況について報告 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告 連結管金属針タイプ販売終了、プラスチック針タイプへの変更について報告 レントゲン撮影時のストレッチャー用マットレス内異物について報告 不具合品報告書フォーマット作成 試用申請書、試用結果報告書様式変更について報告

回	開催日	内容
3	令和6年6月27日	医療機器・消耗品申請について審議及び結果報告 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。 採血管直接印字からクリアラベルへの変更について報告。 レントゲン撮影のストレッチャー用マットレス内異物報告書及び今後の検査方法について報告 ニトリルグローブ変更について報告
4	令和6年7月25日	医療機器・消耗品申請について審議及び結果報告 サージセル・アブソーバブル・ヘモスタットMD自主回収について報告 シンクロ2ガイドワイヤー自主回収について報告。 胃カテーテル販売名称他変更に案内について報告。 オールシリコンフォーリートレイキット仕様変更について報告。 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。 膀胱留置カテーテル自己抜去回答書について報告 申請様式の変更について報告。
5	令和6年9月26日	第5回未開催のため第6回開催時に報告 McGRATH ビデオ喉頭鏡自主回収、情報提供案内について報告 輸液ポンプ・シリンジポンプ定期点検実施日について報告 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告 輸液セット不具合品について報告 McGRATH ビデオ喉頭鏡不具合について報告 不具合品案件フォーマット完成について報告
6	令和6年9月26日	医療機器・消耗品申請について審議及び結果報告 ポピドンヨード・イソジン出荷規制案内について報告 輸液ポンプ・シリンジポンプ定期点検結果報告 セントラルモニタ2台更新について報告 超音波診断装置更新、現行機再利用について報告 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告 輸液セット不具合品について報告 McGRATH ビデオ喉頭鏡不具合について報告 不具合品案件フォーマット完成について報告
7	令和6年10月24日	医療機器・消耗品申請について審議及び結果報告 BLU セレクト気管切開チューブ自主回収について報告。 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告。 キューティプラスステライル販売終了について報告。

回	開催日	内容
8	令和6年11月28日	医療機器・消耗品申請について審議 PICC カテーテル用パッチ納期遅延状態解消について報告 気管切開術用カニューレ採用品変更について報告 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告 輸液セット不具合品メーカー回答について報告
9	令和6年12月26日	医療機器・消耗品申請について審議 超音波診断装置移設について報告 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告
10	令和7年1月23日	1月分の医療機器・消耗品申請について審議及び結果報告 血糖測定器定期点検実施について報告 ネーザルハイフロー機器レンタルについて報告 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告
11	令和7年2月27日	血糖測定器定期点検結果について報告 上肢ロボット型運動訓練装置 ReoGo-J 後継機種について報告 ジェットウォッシャー超音波洗浄機定期点検について報告 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告 令和6年度青森県新興感染症対応力強化事業補助金について報告 コンフォートカフⅡ肺痰補助装置使用について報告
12	令和7年3月27日	医療機器・消耗品申請について審議及び結果報告 人工呼吸器回路用フィルタについて報告 人工呼吸器使用、レンタル状況について報告 令和7年度医療器材管理委員会開催予定日及び委員会メンバーについて報告 コンフォートカフⅡ肺痰補助装置レンタルについて報告

#### 4. 活動要約

- ・医療器材等新規購入の採否に関して審議。
- ・既採用医療材料等の削除に関して調査・報告・審議。
- ・医療器材等の試用に関して報告・審議。
- ・医療器材等の適正な使用及び安全管理に関して調査・報告・審議。
- ・医療器材等の更新に関して調査・報告・審議。
- ・不具合品報告書フォーマット作成。
- ・令和6年度新興感染症対応力強化事業補助金に関して報告。
- ・医療関連物資高騰による器材見直しに関して調査・報告・審議。

## 感染対策委員会

### 1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医療関連感染防止のために、耐性菌検出状況・抗菌薬の使用状況を把握し院内感染対策の業務が適正に遂行されているかを審議することを目的とする。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長	萩井 譲士	(病院長)		
委員	清野 聡	(副院長・感染対策室長)	白戸 弘志	(内科副部長)
	樋口 三枝子	(看護部長)	千葉 順子	(医療安全推進室副室長)
	村上 朋子	(感染対策室副室長) ※	飯田 哲子	(感染対策室看護師)
	算用子 暁美	(リハ部技師長)	中山 登美子	(臨床検査室技師長代行)
	古川 栄	(臨床検査技師)	鳥谷部 翔	(薬剤師長)
	花田 和大	(薬剤師主任代行)	三浦 慶己	(薬剤師)
	野沢 正人	(事務部長)		

※院内感染管理者

### 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月17日	感染情報レポートの検討 抗菌薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTラウンド状況の報告 外来対応医療機関（発熱患者等の診療に対する医療機関）について 教育研修について（新入職員教育研修） 病院機能評価受診からの課題（リハビリスタッフへの手指消毒剤携帯について）
2	令和6年5月22日	感染情報レポートの検討 抗菌薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTラウンド状況の報告 新興感染症発生・まん延時における医療提供に関する協定（第一種、第二種協定指定医療機関として協定を締結） 新型コロナウイルス感染症院内感染対策見直し（新型コロナウイルス感染症対策問診票終了、個人防護具の選択・適切な使用について） 抗菌薬適正使用マニュアル更新 HB ワクチンプログラムについて 第1回院内感染防止対策研修会について

回	開催日	内容
3	令和6年6月19日	<p>           感染情報レポートの検討            抗菌薬使用状況の報告・検討            感染対策室より院内感染状況などの報告            ICTラウンド状況の報告            新型コロナウイルス感染症院内感染対策見直し（正面玄関施設時間変更）            HB ワクチンプログラムについて            感染対策向上加算カンファレンスについて            指導強化加算に係る施設訪問について            COVID-19・インフル・RS 同時検査抗原検査キットについて         </p>
4	令和6年7月17日	<p>           感染情報レポートの検討            抗菌薬使用状況の報告・検討            感染対策室より院内感染状況などの報告            ICTよりラウンド状況の報告            新型コロナウイルス感染症院内感染対策見直し（面会制限緩和、陽性患者へ提供する食事の食器変更、診療体制変更：入院時スクリーニング検査終了、退院基準・隔離基準の見直し）            第1回院内感染防止対策研修会について         </p>
5	令和6年8月21日	<p>           感染情報レポートの検討            抗菌薬使用状況の報告・検討            感染対策室より院内感染状況などの報告            ICTよりラウンド状況の報告            面会制限緩和後の面会状況について            血液培養ボトル供給について            COVID-19罹患状況（患者・職員）の職員への周知について         </p>
6	令和6年9月18日	<p>           感染情報レポートの検討            抗菌薬使用状況の報告・検討            感染対策室より院内感染状況などの報告            ICTよりラウンド状況の報告            各種ワクチン接種について（新型コロナ・インフルエンザ・HB）            感染対策向上加算カンファレンスについて         </p>
7	令和6年10月16日	<p>           感染情報レポートの検討            抗菌薬使用状況の報告・検討            感染対策室より院内感染状況などの報告            ICTよりラウンド状況の報告            各種ワクチン接種期間について            手指消毒剤使用量施設間比較について            インフルエンザワクチン接種について         </p>

回	開催日	内容
8	令和6年11月20日	<p>           感染情報レポートの検討            抗菌薬使用状況の報告・検討            感染対策室より院内感染状況などの報告            ICTよりラウンド状況の報告            リハビリテーション室の接触予防策への対応について            新型コロナウイルス感染症院内感染対策見直し（院内パーティション設置箇所の環境設定について）            感染対策向上加算カンファレンスについて         </p>
9	令和6年12月18日	<p>           感染情報レポートの検討            抗菌薬使用状況の報告・検討            感染対策室より院内感染状況などの報告            ICTよりラウンド状況の報告            新型コロナウイルス感染症について            緑膿菌アウトブレイクの報告         </p>
10	令和7年1月22日	<p>           感染情報レポートの検討            抗菌薬使用状況の報告・検討            感染対策室より院内感染状況などの報告            ICTよりラウンド状況の報告            新型コロナウイルス感染症について            緑膿菌アウトブレイクの報告            ワクチン接種状況についての報告            第2回院内感染防止対策研修会について            感染対策向上加算カンファレンスについて            指導強化加算に係る施設訪問について            COVID-19 核酸検出検査（PCR法）試薬の在庫状況について         </p>
11	令和7年2月19日	<p>           感染情報レポートの検討            抗菌薬使用状況の報告・検討            感染対策室より院内感染状況などの報告            ICTよりラウンド状況の報告            COVID-19 院内感染対策見直し（職員食事環境のパーティション撤去）         </p>
12	令和7年3月19日	<p>           感染情報レポートの検討            抗菌薬使用状況の報告・検討            感染対策室より院内感染状況などの報告            ICTよりラウンド状況の報告            第2回院内感染防止対策研修会評価            COVID-19 関連の外注検査について         </p>

## 院内感染防止対策研修会

回	開催日	内容
1	令和6年6月3日～6年6月16日	標準予防策の基本知識
2	令和7年2月3日～7年2月16日	①注射抗菌薬について 外来経口抗菌薬 ②新型コロナウイルス感染症が5類になって 変わったこと変わらないこと

### 4. 活動要約

- ・感染情報レポートの評価・検討  
院内感染報告患者と報告細菌数を可視化。  
細菌報告後は早期に介入を行い結果も含め報告し、注意点などをフィードバックしている。  
委員会で検討・注意喚起を行う事で感染防止に繋がっている。
- ・薬剤室より、抗菌薬使用状況報告  
抗菌薬使用状況などから、病棟毎の特殊性を把握し感染症に関する治療や抗菌薬使用を可視化する事で、感染状況や治療に繋げる事が出来ている。  
2024年度診療報酬改定で新設された抗菌薬適正使用体制加算取得に向け、外来内服抗菌薬適正使用マニュアルを作成し、医師へ情報を伝達した。
- ・ICTよりラウンド状況報告  
院内環境巡視を通し、院内の感染対策実施状況の把握が出来ている。改善が必要な箇所については管理者と共有し、再ラウンドでの確認も行った。ラウンド時のチェック表の内容は都度見直しを行った。よく指導が入る項目は重点的に確認できるように、また、現状の部署での対応を把握するための聞き取りも含めた内容とした。各部署が無理なく改善に向けて取り組めるようラウンド結果をフィードバックし、今後も介入していく。
- ・新興感染症に関する感染対策  
新型コロナウイルス感染症院内対応の見直しを行った。周囲の医療機関での対応や地域や院内での発生状況などを加味し、面会制限の緩和や診療体制の検討、院内パーテーション設置一部撤去等を行った。院内でのクラスター発生や職員の罹患もあり、新型コロナウイルス感染症が高い感染力があることには変わりはなく、感染対策の必要性を職員、来院者が理解できるよう伝えることを継続しつつ、リスクとベネフィットのバランスを考えながら院内での感染対策について今後も検討していく。
- ・院内感染防止対策研修会（年2回）  
標準予防策は、感染症の流行にかかわらず日常的に実施する必要があるが、意識しながら具体的に日々対策を行っていくことは難しい。そのため、繰り返し学習が必要だと感じ、1回目の研修のテーマとした。標準予防策の項目である環境整備、手指衛生、個人防護具の正しい取り扱いに焦点を絞った内容とした。アンケート結果では、手指衛生の重要性を再認識したとの意見も多くみられた。手指衛生遵守率向上のため、職員が習慣化できるように今後も取り組んでいく。  
2回目の研修では、「医師・薬剤師」と「その他の職種」で研修内容を分けて実施した。「医師・薬剤師」対象の研修については、院内の抗菌薬使用量や耐性化動向について報告や抗菌薬適正使用加算取得へ向け、作成した外来内服抗菌薬における適正使用のマニュアルについて説明。「その他の職員」については、11月より院内新型コロナウイルス感染症クラスター発生した経緯から、再度新型コロナウイルス感染症について学習する必要があると考えテーマとした。対応で困っていることや疑問なことについて様々な意見をいただき、今後、ICTニュースなどでフィードバックしていく。また、職員の自発的な行動変容を促すことが出来るように、現場の指導も継続して行っていく。

## 栄養管理委員会

### 1. 活動目的

病院給食が合理的に運営されるために栄養管理委員会を開催し、患者の適正な栄養管理を行い、医療の質の向上を計ることを目的とする。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長 佐々木 都子 (内科部長・リハ部長)

委員 世永 壮 (薬剤師)	増田 樹 (臨床検査技師)
横濱 岳 (看護師)	中田 史緒奈 (看護師)
石ヶ森 優花 (看護師)	今井 真子 (看護師)
西岡 華帆 (看護師)	中村 美里 (看護師)
原子 美喜子 (看護師)	須藤 賢登 (看護師)
渋谷 鮎美 (看護師)	川村 紘子 (看護師)
下山 樹羅 (言語聴覚士)	角田 七海 (医事係医事担当)
鳴海 悦子 (管理栄養士長)	大川 みこと (管理栄養士)
船水 亜巳 (管理栄養士)	須藤 のどか (管理栄養士)
小笠原 理紗 (管理栄養士)	三橋 義宗 (管理栄養士・日清医療食品)

### 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月3日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 アンケート調査結果報告 行事食について (こどもの日) 新年度の栄養管理委員会・NST委員構成について
2	令和6年5月1日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 アンケート調査結果報告 春の食事会について 柴田学園大学生生活創生学部実習生について
3	令和6年6月5日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 春の食事会総評 栄養管理計画書の書式変更について

回	開催日	内容
4	令和6年7月3日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食について（七夕） 日清医療食品ミャンマー実習生について
5	令和6年8月7日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食について（お盆）
6	令和6年9月4日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 秋の食事会 行事食について（敬老の日、十五夜、秋分の日） ピッチャー返却について たんぱく質分解酵素について
7	令和6年10月9日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 秋の食事会総評
8	令和6年11月6日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 備蓄粥について クリスマス食事会について
9	令和6年12月4日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食について（冬至、大晦日、元旦） 衛生管理、感染症対策について

回	開催日	内容
10	令和7年1月8日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食（節分） クリスマス食事会総評
11	令和7年2月5日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食（バレンタイン、ひなまつり） 感染症対策について（手指消毒）
12	令和7年3月5日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食について（春分の日） 次年度の食事会・栄養教室日程 次年度の栄養管理委員会・NSTの委員構成について 海苔、ふりかけの提供方法について 増粘剤について

#### 【主な行事】

開催日	内容
令和6年6月5日	春の食事会
令和6年10月2日	秋の食事会
令和6年12月25日	クリスマス食事会

#### 4. 活動要約

- ・食事会や行事食は例年通り実施。
- ・個人栄養指導件数は前年より増加、集団栄養指導件数も前年比より増加した。

## 褥瘡対策委員会

### 1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける院内褥瘡対策を討議・検討し、その効率的な推進を図ることを目的とする。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長	岩田 学 (副院長・診療部長)	須藤 恵美子 (看護師)
副委員長	桑村 美佳 (看護主任)	工藤 未稀 (看護師)
委員	樋口 三枝子 (看護部長)	梶浦 枝里奈 (看護師)
	清藤 一輝 (薬剤師)	進藤 笑美子 (看護師)
	小笠原 理紗 (管理栄養士)	齋藤 梨奈 (看護師)
	中嶋 秋花 (理学療法士)	武田 里菜 (看護師)
	下山 浩司 (作業療法士)	對馬 周子 (看護師)
	菊池 真 (企画運営課主任)	西岡 華帆 (看護師)
	佐藤 奈奈 (副看護部長)	高倉 典子 (看護師)
		工藤 詩織 (看護師)
		相馬 真知子 (看護師)
		福井 るい (看護師)
		渋谷 鮎美 (看護師)
		塩谷 美鈴 (看護師)
		山形 由紀子 (看護師)

### 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月10日	4月褥瘡患者について報告 3月分のリスク因子の評価について報告 令和6年度褥瘡対策チーム、褥瘡対策委員名簿について確認
2	令和6年5月8日	5月褥瘡患者について報告 4月分のリスク因子の評価について報告
3	令和6年6月5日	6月褥瘡患者について報告 5月分のリスク因子の評価について報告 医療関連機器圧迫損傷から医療関連機器褥瘡へ名称変更及び実施する勉強会の進捗状況を報告
4	令和6年7月10日	7月褥瘡患者について報告 体位交換クッション2個破棄を報告 6月分のリスク因子の評価について報告 医療関連機器褥瘡勉強会実施日について報告。 医療関連機器褥瘡予防の消耗品(サンプル)案内について報告

回	開催日	内容
5	令和 6 年 8 月 7 日	<p>8 月褥瘡患者について報告</p> <p>エアマット 1 台破損のため購入申請することを報告</p> <p>7 月分のリスク因子の評価について報告</p> <p>医療関連機器褥瘡勉強会実施日及び詳細について報告</p> <p>9 月褥瘡対策委員会終了後にメーカー認定看護師による勉強会実施を報告</p>
6	令和 6 年 9 月 11 日	<p>9 月褥瘡患者について報告</p> <p>エアマット 1 台修理完了、1 台修理不可能のため購入済を報告</p> <p>8 月分のリスク因子の評価について報告</p> <p>9 月 11 日付けで管理栄養士変更について報告</p> <p>体位変換付きエアマット導入の提案、医療器材管理委員会へデモ機申請を行うことを報告</p> <p>医療関連機器褥瘡研修会のコメディカルを実施及び評価報告</p> <p>医療関連機器褥瘡発生について看護計画へ立案する内容を各病棟で検討し次回報告依頼</p> <p>委員会開始前にメーカー褥瘡認定看護師による医療関連機器褥瘡による勉強会を実施</p>
7	令和 6 年 10 月 9 日	<p>10 月褥瘡患者について報告</p> <p>9 月分のリスク因子の評価について報告</p> <p>看護部人事異動により褥瘡対策委員会名簿、褥瘡対策チームの変更を報告</p> <p>エアマットデモ機及び試用申請手続きをしていることを報告</p> <p>医療関連機器褥瘡ガイドラインを配布、今後のケア時に使用するよう報告</p> <p>テンプレート、看護計画の見直しについて報告</p>
8	令和 6 年 11 月 13 日	<p>11 月褥瘡患者について報告</p> <p>エアマット 1 台故障。新機種を検討しており決まり次第購入申請を行うことを報告</p> <p>体位交換枕 1 個破棄したことを報告</p> <p>10 月分のリスク因子の評価について報告</p> <p>11 月 1 日付けで 3 病棟褥瘡委員を 3 名にしたことを報告</p> <p>新たな褥瘡テンプレートの運用開始について報告</p> <p>体位変換付きエアマットデモ機及び借用期間について報告</p>
9	令和 6 年 12 月 11 日	<p>12 月褥瘡患者について報告</p> <p>体位交換枕 1 個破棄について報告</p> <p>11 月分のリスク因子の評価について報告</p> <p>体位変換付きエアマットデモ機他メーカー品について報告</p>

回	開催日	内容
10	令和 7 年 1 月 15 日	1 月褥瘡患者について報告 エアマット 1 台故障、修理不可能。新たな機種を検討しているため決まり次第購入申請することを報告 12 月分のリスク因子の評価について報告 体位変換付きエアマット試用結果について報告 局所摩擦ずれ緩和シート提案品試用について報告
11	令和 7 年 2 月 12 日	2 月褥瘡患者について報告 体位変換付きエアマット購入申請承認を報告。2 台購入申請を行い中央棟、東棟に各 1 台の導入を検討 1 月分のリスク因子の評価について報告 2 月の人事異動に伴い褥瘡委員及び褥瘡対策チームの変更について報告 医療関連機器褥瘡看護計画完成について報告
12	令和 7 年 3 月 12 日	3 月褥瘡患者について報告 体位変換付きエアマット納品及び運用について報告 体位交換枕今年度破棄数及び現在個数を報告。今年度破棄された個数の補充申請を行うことを報告 2 月分のリスク因子の評価について報告 4 月人事異動があり委員の変更等は速やかに連絡をするよう報告 褥瘡マニュアルの差し替えについて報告

#### 4. 活動要約

- ・ 定例委員会において、各病棟での褥瘡発生状況と治療経過について確認と検討
- ・ 定例委員会において、エアマット及び体位交換枕等の使用状況について確認
  - 1) リハスタッフ、栄養士、薬剤師がその専門性を生かし、予防や栄養補助食品、薬剤に関する情報を積極的に提供
  - 2) 褥瘡に関する学会や研修会への参加を促進
  - 3) 定例委員会で勉強会を開催
  - 4) 褥瘡に関する病棟スタッフ間での質問や話し合いが活発になるように、褥瘡対策委員が積極的に啓蒙活動を行う
- ・ 病院機能評価受審に伴い、褥瘡テンプレート、評価マニュアル、褥瘡記録について、訂正及び周知、指導を実施
- ・ 認定看護師による医療関連機器褥瘡勉強会を実施
- ・ 体位変換付きエアマットを導入。患者の安楽性と体圧分散の両立及び介助者の負担軽減を寄与

## 臨床検査適正化委員会

### 1. 活動目的

本委員会は、当院において臨床検査を適正かつ円滑に遂行するための検討を行うことを目的とする

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長 萩井 謙士 (病院長)  
 委員 清野 聡 (副院長)  
 中山 登美子 (臨床検査技師長代行)  
 花田 和大 (薬剤師主任代行)  
 千葉 順子 (看護師長)  
 村上 朋子 (看護師長)  
 齋藤 理恵 (医事課長)  
 永井 莉央 (医事課)

### 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月17日	検査技師1名(生理検査担当)病欠延期の報告 ID NOW のバージョンアップ実施 HISCL (免疫) の定期点検実施 2月実施コバス Liat サーベイの結果について
2	令和6年5月22日	検査技師1名(生理検査担当)病欠延期の報告 ABI 納品 i-STAT (血ガス) 納品 2月実施ニッターボーサーベイ (CRP、UALB、PALB) の結果について
3	令和6年6月19日	2月実施ワコーサーベイ (便潜血) の結果について 検査技師1名(生理検査担当)入院の報告 バイオラッド (血液型) の定期点検実施
4	令和6年7月17日	CS2500 (凝固) の定期点検実施 UF-1000i (尿沈渣) で不具合があり、部品交換実施 コロナ抗原定量を院内で実施 フィリップスエコー3台定期点検 検査技師1名(生理検査担当)退職の報告
5	令和6年8月21日	6月実施デタミナサーベイ (脂質、HbA1c) の結果について HISCL (免疫) の部品交換実施 一時受託中止となっていたCKアイソザイム再開 TBA120FR(生化学)の定期点検
6	令和6年9月18日	フィリップスエコー (HD15) の操作パネルを交換 TBA120FR(生化学)の定期点検実施 5月実施ワコーサーベイ (尿蛋白) の結果について 頸動脈エコーの新機器について
7	令和6年10月16日	血液培養ボトルの出荷調整について 頸動脈エコーの新機器の設置時期について

回	開催日	内容
8	令和6年11月20日	SRLの細菌検査等の報告様式変更について
9	令和6年12月18日	HBワクチンプログラム対象者の抗体価測定を開始 生理検査担当技師が心電図室で転倒した件について（労災） Banjo（血液型）の定期点検実施
10	令和7年1月22日	シスメックスサーベイ（Dダイマー）の結果について デンカサーベイ（RPR、TPAb）の結果について HIV検査キットの出荷について 細菌検査（SRL）の薬剤感受性セットの変更について TBA120FR（生化学）の定期点検実施
11	令和7年2月19日	シノテストサーベイ（Zn、UIBC）の結果について
12	令和7年3月19日	10月実施ニトローボーサーベイ（NH3）の結果について 9月実施日本医師会サーベイの結果について TBA120FR（生化学）の定期検査実施 XN-1000の定期点検実施 HISCL5000の定期点検実施 肺機能測定機器（スパイロメーター）内部のスクリーンカバー固定用リングを交換

### 3. 活動要約

- ・ 検査データの精度向上に努める
- ・ 最新の検査項目の提供
- ・ 検査機器の保守、新機種を検討
- ・ 研究活動
- ・ 治験への参加協力

## 薬事審議委員会

### 1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医薬品の採用及び削除に関して審議し、医薬品適正使用を目的に活動するものである。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長 馬場 佳子 (副院長・薬剤室長・医薬品情報室長・医薬品安全管理室長)

委員 清野 聡 (副院長)

鳥谷部 翔 (薬剤師長・医薬品安全管理責任者) 【事務局】

花田 和大 (薬剤師主任代行)

野沢 正人 (事務部長)

齋藤 理恵 (医事課長)

桑田 武人 (企画運営課長) 【事務局】

### 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月8日	未承認薬・医薬品の適応外使用について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について レパーサ皮下注 420 mgオートミニドナー販売中止について フィコンパ点滴静注 2mg 臨時採用申請について 3月31日に使用期限切れの院外処方について
2	令和6年5月13日	委員・規定の確認 未承認薬・医薬品の適応外使用について 診療報酬改定に伴う医薬品の安定供給に資する取組の推進 院外処方の調剤薬局との疑義照会簡素化プロトコールについて 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について レパーサ皮下注 420 mgオートミニドナー販売中止について

回	開催日	内容
3	令和6年6月10日	未承認薬・医薬品の適応外使用について 院外処方の調剤薬局との疑義照会簡素化プロトコールについて 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について 薬事審議委員会の年間スケジュールについて
4	令和6年7月8日	未承認薬・医薬品の適応外使用について 院外処方の調剤薬局との疑義照会簡素化プロトコールについて 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
5	令和6年9月9日	未承認薬・医薬品の適応外使用について 院外処方の調剤薬局との疑義照会簡素化プロトコールについて 院外処方の薬剤師による処方支援について シルガード9について シングリックス（带状疱疹ワクチン）について コロナワクチンについて 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
6	令和6年10月21日	未承認薬・医薬品の適応外使用について 院外処方の調剤薬局との疑義照会簡素化プロトコールについて レパーサ皮下注 420mg オートミニドザーの販売中止について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
7	令和6年12月9日	医薬品の適応外使用について 院外処方の調剤薬局との疑義照会簡素化プロトコールについて イグザレルトのジェネリック発売について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 来年度の薬事審議委員会日程について 流通不良品・出荷調整品について

回	開催日	内容
8	令和7年1月20日	医薬品の適応外使用について 院外処方調剤薬局との疑義照会簡素化プロトコールについて ビブラマイシン錠 50 mg について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
9	令和7年2月10日	医薬品の適応外使用について 院外処方調剤薬局との疑義照会簡素化プロトコールについて 一般名処方調剤報告書に係る FAX 報告不要について バファリン配合錠の販売中止に伴う代替薬について ゼオマイン注について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について
10	令和7年3月10日	医薬品の適応外使用について 院外処方調剤薬局との疑義照会簡素化プロトコールについて 一般名処方調剤報告書に係る FAX 報告不要について 出荷調整薬ロスバスタチン錠 5 mg について 採用申請状況 デッドストック使用動向 後発医薬品採用割合報告 流通不良品・出荷調整品について

#### 4. 活動要約

- ・事務局である薬剤室薬剤師が各製造販売会社ホームページ、MR 訪問、添付文書やインタビューフォームなどから情報を入手、資料を作成し、薬事審議委員会にて審議する。
- ・県内医療機関の採用状況及び流通を定期的に聴取し評価する。
- ・採用中の先発医薬品の中で、①適応に違いがない、②形状や大きさが先発と似ている、③後発医薬品のみの特徴がある、など変更可能と考えられる医薬品を積極的に後発品に切り替える。新規採用の場合でも可能であれば後発医薬品とする。
- ・新規採用薬、採用変更及び中止薬を院内に回覧し周知する。
- ・デッドストック情報を毎月共有し不動在庫にならないようにする。
- ・後発医薬品採用割合を毎月確認する。
- ・問題発生があれば速やかに薬事審議委員会に報告し採用継続の適否を検討する。

# 診療記録管理委員会

## 1. 活動目的

診療記録等の診療情報資料及び電子保存システムを適正かつ効率的に管理し、診療情報管理業務並びに電子保存システムの円滑な運営を図ることを目的とする。

## 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

- 委員長 白戸 弘志 (内科副部長)  
委員 鳥谷部 翔 (薬剤師長)  
佐藤 奈奈 (副看護部長)  
三浦 康彦 (理学療法副室長)  
小野 公久 (リハ士長・作業療法士)  
川村 隆行 (診療放射線技師長)  
外崎 佳奈子 (臨床検査技師)  
鳴海 悦子 (管理栄養士長)  
立林 修 (事務部次長兼庶務課長代行)  
齋藤 理恵 (医事課長)  
今田 信之 (医事課主任医療情報担当)  
佐々木 大聖 (医事課係医事担当) 【診療記録管理者】

## 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月5日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 診療記録等の廃棄について テンプレート・マスタ等の更新について 対応事項の進捗について 医療情報データ持ち出し時の申請について アクセスログ定期監査について サーバー定期再起動について
2	令和6年5月10日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 対応事項の進捗について アクセスログ定期監査について サーバー定期再起動について 令和6年度委員名簿について

回	開催日	内容
3	令和6年6月7日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 対応事項の進捗について 電子カルテシステム運用マニュアルの見直しについて サーバー定期再起動について
4	令和6年7月5日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 対応事項の進捗について リハビリ総合実施計画書の様式変更（退院時共同指導料2の算定検討）について アクセスログ定期監査について サーバー定期再起動について
5	令和6年8月2日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 対応事項の進捗について アクセスログ定期監査について サーバー定期再起動について
6	令和6年9月6日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 対応事項の進捗について アクセスログ定期監査について サーバー定期再起動について
7	令和6年10月4日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 対応事項の進捗について 画像ビューア、モダリティ名の変更について（心電図） アクセスログ定期監査について サーバー定期再起動について
8	令和6年11月1日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 対応事項の進捗について モニタ心電図用サーバー故障について アクセスログ定期監査について サーバー定期再起動について

回	開催日	内容
9	令和6年12月6日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 対応事項の進捗について 院内LAN 端末（事務系インターネットPC）のセキュリティ設定強化について アクセスログ定期監査について サーバー定期再起動について
10	令和7年1月10日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 対応事項の進捗について 画像サーバー無停電電源装置（UPS）交換に伴うシステム停止について アクセスログ定期監査について サーバー定期再起動について
11	令和7年2月7日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 対応事項の進捗について ファイアウォール機器ログ検知（侵入防止）について 電子カルテ文書種別「入退院支援記録」の新規追加について アクセスログ定期監査について サーバー定期再起動について
12	令和7年3月7日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について パス適用率について 診療記録の点検について 機密文書廃棄について 対応事項の進捗について アクセスログ定期監査について サーバー定期再起動について

#### 4. 活動要約

- ・不備があると考えられる診療記録、電子カルテを始め各システム等の問題点について、検討及び提案し改善に努めた。

## 臨床倫理委員会

### 1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンターの職員が行う医療活動が、臨床倫理上の観点から適切なものになることを目指す。病院内の診療に求められる倫理性の適正な保持、及び促進に必要な検討、助言を行うことを目的とする。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長	岩田 学	(副院長・診療部長)
副委員長	佐々木 都子	(内科部長・リハ部長)
委員	樋口 三枝子	(看護部長)
	千葉 順子	(看護師長・医療安全推進室副室長)
	算用子 暁美	(リハ部技師長・作業療法士)
	鳥谷部 翔	(薬剤師長)
	鳴海 悦子	(管理栄養士長)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)
	中山 登美子	(臨床検査技師長代行)
	工藤 慎	(医療相談室長)
	野沢 正人	(事務部長)
	立林 修	(事務部次長・庶務課長代行) 【事務局】
外部委員	伊藤 佑輔	(顧問弁護士)

### 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年7月9日	・令和6年度研修会の開催について eラーニングを活用し、全職員対象の研修を行う。 ・「自主退院に関する誓約書」の新規運用について

### 4. 活動要約

・昨年度の研修（「臨床倫理入門」）に続き、今年度は下記の研修（実践編）を実施した。

1. 倫理カンファレンスとは
2. 事例検討の実際①～「もやもや」を整理する
3. 事例検討の実際②～選択肢の評価と対話

## 倫理審査委員会

### 1. 活動目的

本委員会は、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医学・医療の倫理的問題について協議するとともに、病院長又は医療部長の諮問を受けて、当院に所属する者が当院において行う医療行為、医学研究及び教育等が医の倫理に関するヘルシンキ宣言等の趣旨に沿って倫理的配慮の下に行われるか審査する。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長 岩田 学 (副院長)

委員 馬場 佳子 (副院長)

樋口 三枝子 (看護部長)

#### 【病院外部の学識経験者】

前青森県立保健大学健康科学部理学療法学科 准教授 勘林 秀行

社会保険労務士 石塚 紀子

#### 【事務局】

盛 啓介 (事務係長)

舘田 廣子 (庶務係)

外崎 春香 (医学研究室)

### 3. 活動記録

#### A 審議あり (変更申請を除く新規申請のみ表示)

承認日	研究名	申請者
令和6年6月25日	回復期リハビリテーション看護師が行う退院指導の実施状況	看護師 花田 美央
令和6年10月22日	看護職・介護職の高次脳機能障害に関する知識とケアの実際	看護師 野呂 拓夢
令和6年11月18日	抗菌薬適正使用活動とタゾバクタム/ピペラシリンの使用量に関する研究	薬剤師 花田 和大
令和7年3月26日	脳卒中急性期および慢性期患者の病態解明に関する観察研究 (HSR Ver.2)	院長 萩井 譲士

#### B 審議を必要としないもの (委員長決裁)

申請なし

### 4. 活動要約

- ・倫理審査は、紙上にて実施し、各委員が審査の上、必要に応じて申請者へ質問、指摘を行った。また、不備な点については、修正、追加の上再申請を求めた上で再審査した。
- ・令和7年2月に倫理審査委員会を開催し、実施中の研究に関する定期報告の確認を行った。また、委員によるeラーニング等での研修受講や、次年度の委員選任について議論した。

## 衛生委員会

### 1. 活動目的

衛生委員会の構成、運営、調査審議事項などを定め、衛生管理活動の円滑な推進を図ることを目的とする。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長	萩井 譲士	(病院長)
委員	高橋 広希	(内科部長・産業医)
	清野 聡	(副院長・衛生管理者)
	野沢 正人	(事務部長)
	樋口 三枝子	(看護部長)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)
	算用子 暁美	(リハ部技師長・作業療法士)
	山本 賢雅	(理学療法室長)
	村上 朋子	(感染対策室副室長)
	立林 修	(事務部次長・庶務課長代行) 【事務局】

### 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月24日	委員長、委員の交代について 感染症罹患状況、労災事故（昨年度件数、過年度推移）について 春の健康診断実施について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 中材の熱中症計の4月モニタリング結果について
2	令和6年5月29日	5月の感染症罹患状況・労災事故について 春の健康診断実施について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 院内巡視報告（医学研究室、物品管理室、ごみ収集庫、不潔リネン庫、臨床検査室、生理検査室、診療放射線室） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 中材の熱中症計の5月モニタリング結果について
3	令和6年6月26日	6月の感染症罹患状況・労災事故について 春の健康診断の実施状況について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 院内巡視報告（医局、薬剤室、DI室） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 熱中症計の6月モニタリングの結果について

回	開催日	内容
4	令和 6 年 7 月 31 日	7月の感染症罹患状況・労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 健康診断の実施状況及び保健所立入検査指導事項について 院内巡視報告（栄養室、厨房、事務室） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 入浴係の熱中症対策について
5	令和 6 年 8 月 28 日	8月の感染症罹患状況・労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用）について 健康診断後の要精検者再受診勧奨について 院内巡視報告（施設管理室、屋上、ボイラー・機械室） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 入浴係の熱中症対策について
6	令和 6 年 9 月 25 日	9月の感染症罹患状況・労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、職員研修）について 令和6年度ストレスチェック実施について 院内巡視報告（5病棟、感染対策室） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 熱中症計モニタリング結果について（中央材料室、4F浴室）
7	令和 6 年 10 月 30 日	10月の感染症罹患状況・労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、職員研修）について 院内巡視報告（1病棟） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 熱中症計モニタリング結果（中央材料室、4F浴室）
8	令和 6 年 11 月 27 日	11月の感染症罹患状況・労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診、ストレスチェック実施について 院内巡視報告（4病棟） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
9	令和 6 年 12 月 25 日	12月の感染症罹患状況・労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診、ストレスチェック実施状況について 院内巡視報告（3病棟） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 喫煙率集計結果について
10	令和 7 年 1 月 29 日	1月の感染症罹患状況・労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、職員研修）について ストレスチェック実施結果について 院内巡視報告（2病棟、中央材料室） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 職員の禁煙教育について

回	開催日	内容
11	令和 7 年 2 月 26 日	2月の感染症罹患状況・労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診の結果報告について 院内巡視報告（居宅・訪問・地域連携室、1階リハ室、歯科） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
12	令和 7 年 3 月 26 日	3月の感染症罹患状況・労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 院内巡視報告（外来、内視鏡室、超音波検査室） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について

#### 4. 活動要約

- ・事業者側と雇用者側からの委員構成で職場環境の点検と対策について検討した。
- ・感染症罹患状況の把握、新型コロナウイルス感染症については5類移行に伴い就労制限緩和となった。
- ・前年度に引き続き、冬の路面凍結による転倒事故防止対策として、職員通用口付近に融雪および電気マットを敷き、注意喚起の回覧、掲示を実施した。
- ・労災事故件数 骨折0件、打撲・捻挫5件、患者行為による受傷4件、針刺し3件、その他4件と昨年度と同数の16件。
- ・放射線被ばく防止の対応、健康管理についての現況報告は、対象者全員 線量限度内。
- ・健康診断で所見のあった職員へのフォローアップをした。  
春の受診者数 181名、要精検者数 19名（10.5%）  
秋の受診者数 455名、要精検者数 36名（7.9%）
- ・時間外労働（月80時間超の長時間労働者）については、令和6年度該当者なし。
- ・メンタルヘルスケアについて年1回の研修会の実施  
新型コロナウイルスの感染対策のため、資料による学習研修とした。  
「医療職のためのメンタルヘルス対策」（PDF資料）を活用→受講完了421名
- ・ストレスチェックの実施の結果：受検率98%、受験者に占める高ストレス判定者の割合14.2%
- ・職員の禁煙教育の推進のため、職員健診の問診から得られる喫煙歴をもとに喫煙率を職種別に把握した。次年度、資料閲覧形式による禁煙教育研修会を実施する方針とした。

## 部署代表者委員会

### 1. 活動目的

本委員会は、当財団が少しでも働きやすい環境となるよう、就業規則等の作成・変更にあたっての意見や要望を職員から聴取・集約した上で、財団との交渉や、財団が必要とする意見交換に応じ、法令で定められた書面による財団との協定の締結・変更及び解約を行うことを目的とする。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長	中央診療部代表	川村 隆行	(診療放射線技師長)
委員	診療部代表	白戸 弘志	(内科副部長)
	看護部代表	橋本 祐樹	(看護主任)
リハ部代表		佐藤 純子	(看護主任)
		齋藤 曜子	(リハ主任・作業療法士)
		荒谷 光太郎	(理学療法士)
事務部代表		飯塚 聖貴	(施設管理課係長)

### 3. 委員会記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月12日(金)	委員長が職員代表者として適任であるか各部署に確認するための書面を回覧した⇒過半数以上の職員から賛同を得られた
2	令和6年4月12日(金)	就業規則等の一部改正について意見を文書で提出するよう財団事務局より委員会へ依頼あり⇒委員会から異議なし
3	令和6年4月24日(水)	定期昇給ならびに看護職員等处遇改善手当1・2の支給についての協定書を財団事務局と締結した
4	令和6年6月21日(金)	令和6年6月分以降の看護職員等处遇改善手当1と賃金改善手当1・2の支給ならびに賞与支給率についての協定書を財団事務局と締結した
5	令和6年10月11日(金)	日勤業務中での休憩時間(45分)の過ごし方に関する事項を就業規則により確認して各部署に回覧した
6	令和7年3月5日(水)	財団事務局より全職員対象で令和7年度給与改定説明会が開催され給与改定について意見を文書で提出するよう財団事務局より委員会へ依頼あり⇒委員会から異議あり
7	令和7年3月24日(月)	就業規則等の一部改正について意見を文書で提出するよう財団事務局より委員会へ依頼あり⇒委員会から異議なし
8	令和7年3月25日(火)	eラーニングシステム「はぐくも」の視聴アカウント料を毎年6月に支給する賞与から控除して支払いを可能とするために財団事務局と協定書を締結した
9	令和7年3月27日(木)	令和7年度の時間外労働及び休日労働に関する労使協定書を財団事務局と締結した

#### 4. 活動要約

令和7年3月5日(水)に財団事務局より全職員対象で令和7年度の給与改定説明会が行われ、約100名の職員が出席した。財団財政を正常に維持し事業を継続していくには基本給の適正化を行い、退職金支給率を変更して支給調整することが必要であるらしく、全職員の基本給は6.2%上乘せになるかわりに賞与支給率が年間5.2%から4.2%へ引き下げられるため、年収の増額は見込めないし、また、勤続年数5年以上10年以下の職員が退職する際の退職金支給率も半減となるため多くの職員から貴重な意見や要望がたくさん寄せられた。委員会では意見・要望を取りまとめ財団事務局に対して異議申し立てを行ったが、令和7年度分は財団の方針に従うことになった。しかし、異議申し立ての内容について財団事務局からの回答により、当財団の運営に関して知らなかった部分を知ることができたことで多くの職員が財団財政に興味・関心を持つきっかけとなったことは良かったと思っている。

男子更衣室と女子更衣室に設置している意見箱に職員からの意見や要望等が多く寄せられたが、個人を特定できる内容の投書に関して委員会で検討した結果、財団事務局に申し出して事実確認等を含めて然るべき対応をお願いした。

委員会としては職員の皆様から得られた意見・要望等を参考に労働条件の改善や労働環境の整備を微力ながらも引き続き計画・実行していきたいと考えている。

## 教育研修委員会

### 1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける職員の学習を奨励し、①職業人として自己を研鑽する姿勢を身につける ②医療人として患者のために奉仕する心を学ぶ ③プロフェッショナルとして個々の知識、スキルを高めるための支援、及び環境調整をするものである。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長	馬場 佳子	(副院長)	
副委員長	中田 智子	(副看護部長)	
委員	鳥谷部 翔	(薬剤師長)	熊澤 ゆかり (臨床検査技師主任)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)	宇佐美 夏希 (医療相談室副室長)
	三上 小夜香	(看護師長)	澤田 葉奈 (財務経理課主任)
	山本 賢雅	(理学療法室長)	奈良 麻里 (医事課主任医師補助担当)
	鳴海 悦子	(管理栄養士長)	

### 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月26日	研修旅費・学術助成費の執行状況 新入職員教育研修について 令和6年度の研修計画について
2	令和6年5月24日	研修旅費・学術助成費の執行状況 施設間勉強会の開催について 令和6年度の各部署新人・現任研修計画について
3	令和6年6月28日	研修旅費・学術助成費の執行状況 メディカルスタッフ勉強について 施設間勉強会について
4	令和6年7月26日	研修旅費・学術助成費の執行状況 電子帳簿保存法改正による電子データの保存について 施設間勉強会について 院内の必須研修の精査について
5	令和6年8月23日	研修旅費・学術助成費の執行状況 施設間勉強会について メディカルスタッフ勉強会について
6	令和6年9月27日	研修旅費・学術助成費の執行状況 対面研修会等の出席確認の電子化について 今年度新人・現任研修の中間報告についてのお願い
7	令和6年10月18日	研修旅費・学術助成費の執行状況 会計方法を含めた承認伺い作成の運用マニュアルについて 各部署の年間研修計画の中間報告

回	開催日	内容
8	令和6年11月22日	研修旅費・学術助成費の執行状況 来年度の戦略的人材育成費の入力について 承認伺い運用マニュアルについて 「出張願い」廃止の提案
9	令和6年12月27日 (紙上開催)	研修旅費・学術助成費の令和7年度予算について
10	令和7年1月24日	研修旅費・学術助成費の執行状況 令和6年度日本脳卒中学会におけるコメディカルスタッフの 予算使用希望の確認について
11	令和7年2月28日	研修旅費・学術助成費の執行状況 今年度分の研修評価入力について
12	令和7年3月28日	研修旅費・学術助成費の執行状況 各部署の令和6年度研修評価報告 次年度メンバー変更について 次年度の委員会開催時間の変更について

#### 4. 活動要約

- ・ 出張旅費と学術助成の計画と執行状況の確認をした。
- ・ 戦略的人材育成費の内容と学会研修旅費の予算を検討し、決定した。
- ・ 計画的にメディカルスタッフ勉強会を開催し、評価した。
- ・ 新人研修や各部署の研修計画をまとめ、研修評価を促した。

## 施設運用委員会

### 1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける施設運用についての意見及び要望について検討し、その適正化を図ることを目的とする。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長 清野 聡 (副院長)  
 委員 樋口 三枝子 (看護部長)  
 算用子 暁美 (リハ部技師長)  
 川村 隆行 (診療放射線技師長)  
 野沢 正人 (事務部長)  
 工藤 博人 (施設管理課長)

### 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月4日	点検表の配布について 2023年度総括 他
2	令和6年5月2日	点検表について審議検討した。 1階面談室の床工事について 他
3	令和6年6月6日	点検表について審議検討した。 LED照明更新工事について 空調(ACP-⑤系統)更新工事について 受電設備の機器更新工事(前期、停電あり)について 他
4	令和6年7月4日	点検表について審議検討した。 空調(栄養事務室)更新工事について 他
5	令和6年8月1日	点検表について審議検討した。 110号室壁の変形について 他
6	令和6年9月5日	点検表について審議検討した。 時間外出入口、無断離院対策について 他
7	令和6年10月3日	点検表について審議検討した。 外来、血圧計の場所移動について 他
8	令和6年11月7日 (紙上会議)	点検表について審議検討した。 北側、職員出入口の扉更新工事について 受電設備の機器更新工事(後期、停電あり)について 他
9	令和6年12月	※開催なし。
10	令和7年1月9日	点検表について審議検討した。 空調(ACP-④系統)更新工事について 他
11	令和7年2月6日	点検表について審議検討した。 直流電源装置の更新について 他

回	開催日	内容
12	令和 7 年 3 月 6 日	点検表について審議検討した。 共用スタッフ室の用途変更について 他

※令和 6 年 12 月は開催なし。

#### 4. 活動要約

- ・ 1 階面談室の床改修工事。
- ・ LED 照明更新工事。
- ・ 空調更新工事 (ACP-⑤系統 : 436 号室～453 号室)。
- ・ 受電設備の機器更新工事 (前期、停電あり)。
- ・ 空調更新工事 (栄養事務室)。
- ・ 予備室の有効利用 (レイアウト変更)。
- ・ 手術室、中央材料室廻り冷暖切り替えのタイミングについて検討。
- ・ 110 号室、壁の変形に対し修繕実施。
- ・ 4 病棟トイレ手すり、壁修繕 (3 ヶ所)。
- ・ 時間外出入口、無断離院対策。
- ・ 外来、血圧計の場所移動。
- ・ 受電設備の機器更新工事 (後期、停電あり)。
- ・ 空調更新工事 (ACP-④系統 : 220 号室～221 号室、333 号室～352 号室)。
- ・ 直流電源装置の更新。
- ・ 北側、職員出入口の扉の更新計画について検討。
- ・ 共用スタッフ室の用途変更。

## 広報委員会

### 1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター(以下「センター」という。)の医療情報の広報を的確に推進するため、センターに広報委員会(以下「委員会」という。)を置く。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長 佐々木 都子 (内科部長)

委員 樋口 三枝子 (看護部長)

算用子 暁美 (リハ部技師長)

鳥谷部 翔 (薬剤師長)

盛 啓介 (事務係長)

田中 結菜 (庶務課主任)

### 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年5月20日	令和5年度の「年報」情報を各部署へ依頼 ホームページ掲載の部署紹介について検討 ホームページ掲載の臨床指標について検討 適応外使用医薬品の患者同意について
2	令和6年7月22日	令和5年度の「年報」校正について ホームページ掲載の部署紹介について 適応外使用医薬品の患者同意の掲載について
3	令和9年9月30日	令和5年度の「年報」校正について ホームページ掲載の部署紹介について検討 ホームページ掲載の臨床指標について検討
4	令和6年11月18日	令和5年度の「年報」について 当院敷地内の案内見直しについて ホームページ掲載の臨床指標について ホームページ以外の広報媒体の検討 ホームページ看護部紹介について検討
5	令和7年1月20日	当院敷地内の案内について検討 広報誌について検討
6	令和7年3月17日	当院敷地内の案内について検討 広報誌について検討

### 4. 活動要約

- ・ホームページ内の種々の修正を行った。
- ・年報第11号(令和5年度)が完成し、1月にホームページ上で公開した。

## 患者サービス委員会

### 1. 活動目的

本委員会は、各部門が連携協調を図り、業務の円滑な処理および効率性を確保することにより、病院を利用する患者および患者の家族等（以下患者等）へのサービス向上に資することを目的とする。

（内容）①患者等への対応サービスの向上に関すること。②患者等の院内活動にかかるサービス向上に関すること。③患者等からの苦情・意見の収集および対応に関すること。④ボランティアの受け入れおよび活動内容に関すること。⑤その他の医療サービスに関すること。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長	高橋 広希	(内科部長)		
副委員長	大川 麻美	(看護師長)	小山 裕美	(リハ主任・理学療法士)
アドバイザー	野沢 正人	(事務部長)		
委員	千葉 順子	(医療安全推進室副室長)	関 晃治郎	(診療放射線技師)
	鳴海 悦子	(栄養士長)	村井 遥子	(看護主任)
	板垣 充子	(看護師)	中田 吏緒奈	(看護師)
	小野 るり子	(副看護師長)	新山 節子	(看護師)
	桑村 美佳	(看護主任)	橋本 祐樹	(看護主任)
	工藤 詩織	(看護師)	漆沢 修治	(看護主任)
	工藤 江理香	(看護主任代行)	齋藤 曜子	(リハ主任：作業療法士)
	成田 理紗	(言語聴覚士)	成田 笑美	(医療相談員)
	葛西 志保	(医事課主任)	境 千尋	(財務経理課)

### 3. 活動記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月18日	3月分退院患者アンケート調査結果の報告 令和5年度退院・外来患者アンケート調査結果の報告 令和6年度規約・委員・活動予定の確認
2	令和6年5月16日	4月分退院患者アンケート調査結果の報告 今年度委員目標の決定「名札の位置の基準決め」
3	令和6年6月20日	5月分退院患者アンケート調査結果の報告 委員目標達成に向けた具体的な今後の活動について 活動の日程等確認（ゴミ拾い、七夕）
4	令和6年7月18日	6月分退院患者アンケート調査結果の報告 活動報告（七夕） 院内接遇マニュアルの見直しについて 接遇研修の日程等の連絡
5	令和6年8月22日	7月分退院患者アンケート調査結果の報告 活動報告（ゴミ拾い） 院内接遇マニュアルの見直し・職員への周知方法について 接遇研修の実施準備（要綱を確認）

回	開催日	内容
6	令和6年9月19日	8月分退院患者アンケート調査結果の報告 院内接遇マニュアルの周知方法の決定 接遇研修の実施準備（スケジュール、担当業務の共有）
7	令和6年10月17日	9月分退院患者アンケート調査結果の報告 接遇研修の最終確認（担当者でマニュアルの確認）
8	令和6年11月21日	10月分退院患者アンケート調査結果の報告 活動報告（接遇研修） 接遇研修欠席者の確認・欠席者対応（各自で動画を視聴） 活動の日程等確認（クリスマスツリーの設置）
9	令和6年12月19日	11月分退院・外来患者アンケート調査結果の報告 院内接遇マニュアルについて職員への回覧作成 接遇研修欠席者の確認・欠席者対応（各自で動画を視聴） 接遇研修振り返り（職員からの意見を抜粋し、委員で共有） クリスマスツリーの撤去
10	令和7年1月16日	12月分退院・外来患者アンケート調査結果の報告 接遇研修欠席者の確認・欠席者対応（各自で動画を視聴）
11	令和7年2月20日	1月分退院・外来患者アンケート調査結果の報告 院内接遇マニュアルについて職員向けの回覧配布 院内接遇マニュアルについて電子カルテへ掲載 次年度委員の選出について
12	令和7年3月21日	2月分退院・外来患者アンケート調査結果の報告 令和6年度の退院・外来患者アンケート調査結果の報告 患者支援レポートの報告 今年度の評価・次年度の課題について

#### 4. 活動要約

##### 【主な行事】

開催日	内容
令和6年6～7月	七夕飾りの設置・片づけ
令和6年7月26日	清掃活動（ゴミ拾い） 参加者：17名
令和6年10月21日～25日	接遇研修（集合研修 ※eラーニングビデオ研修） テーマ①：「医療現場にさまざまな影響をもたらす「あいさつ」のチカラ（約8分）」
令和6年10月21日～25日	テーマ②：「信頼関係を築く医療接遇のあり方（約15分）」 参加者：413名（全職員対象）
令和6年10月30日～11月30日	接遇研修（eラーニングビデオ研修 ※各自で視聴） 参加者：48名（集合研修の欠席者）

開催日	内容
令和6年11～12月	クリスマスツリー飾りの設置・片づけ

【患者アンケート（患者等からのご意見）】 ※別添参照

- ・退院患者アンケート：年間回収率 55.36%（令和6年4月～令和7年3月まで）※別紙参照
- ・外来患者アンケート：年間回答者：39名（令和6年4月～令和7年3月まで）※別紙参照

◎ご意見・ご不満の内容

- ・食事について（味付け、メニュー等）
- ・医師、看護師他の接遇（説明不足、態度・言葉遣い、業務中の雑談、ナースコール対応の遅さ等）
- ・環境・設備について（室温、衛生面、換気扇の騒音等）
- ・診察までの待ち時間の長さ（外来受診）
- ・その他：面会制限の緩和について（面会時間の増加等）  
通信環境の改善（Wi-Fiの電波が弱い）  
食堂での待ち時間について（待ち時間が長い）

【総括】

◎アンケート対応の改善

- ・前年度に引き続き「回収率50%以上」を達成した。  
次年度もアンケート業務を継続して、意見の回収・把握を試みる。  
⇒特に「スタッフの接遇」に関する意見をいただくことが多かったため、来年度も引き続き課題として対応していきたい。

◎行事活動

- ・計画した行事について予定通り実施できた。
- ・接遇研修はビデオ研修を実施した。

コロナ禍が明け、対面での集合研修の実施も可能となった今年度においては、昨年同様に集合研修を検討したが、研修準備および当日の運営にかかる負担を考慮し、今回はビデオ研修という形を選択した。また、ビデオ研修では、時短勤務者や研修を欠席した職員が別日に個別に受講できるという利点もある。

研修内容は接遇の基本である挨拶や、医療現場における具体的な接遇マナーについて取り上げた。内容自体は初歩的であるが、日常業務において基本的な接遇対応が十分に実施されていないと患者様からのご指摘を多数いただいていることを受け、あらためて基本に立ち返る機会とするためにこのテーマを設定した。日々の忙しさの中で見落とししがちな対応の質を見直す機会となり、各自の意識向上につながったものと考えている。

一方で、受講後の職員からの声として、「時間外に集まって受講するには内容が物足りない」「集合形式で双方のやり取りがある方が学びが深まる」との意見もあり、今後は外部講師の活用も視野に入れながら、研修の質や実施方法について再検討する必要性を感じた。

今後も年1回の接遇研修を継続的に実施し、形式的なものにとどまらず、実際の患者対応や職員間のコミュニケーションに確実に活かされるよう、内容の検討・改善を重ねていきたい。

◎その他

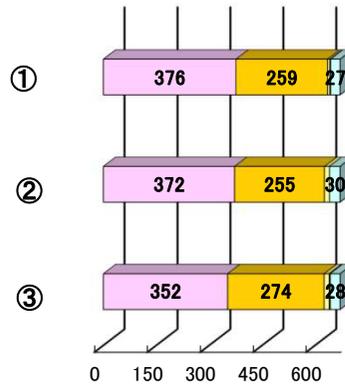
- ・ご意見・ご不満に関して、原因・状況を詳細に確認し、再発防止策を講じた。その後、病棟間で情報を共有し、改善策を周知徹底することで、サービスの向上につなげた。
- ・環境・設備等に関して、施設管理部門と連携し解決を図り、問題点や課題を早期に発見し、解決に向けた取り組みを行った。安心して過ごせる環境を提供するため、施設内の安全性を最優先に考慮し、安心・安全な環境づくりに尽力した。

# 退院患者さんへのアンケート調査結果 (年間集計) 令和6年4月1日～令和7年3月31日

◎回答者数: 671名 ◎退院患者数: 1212名 ◎全体回収率: 55.4%

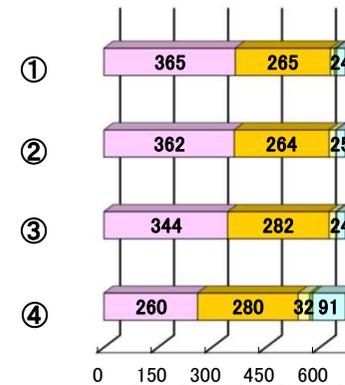
## Q1. 医師について

	とても良い	良い	悪い	とても悪い	未記入	計
①マナー、身だしなみ等	376	259	7	2	27	671
	56.0%	38.6%	1.0%	0.3%	4.0%	100.0%
②不安や要望への返答	372	255	14	0	30	671
	55.4%	38.0%	2.1%	0.0%	4.5%	100.0%
③検査や治療の説明	352	274	14	3	28	671
	52.5%	40.8%	2.1%	0.4%	4.2%	100.0%



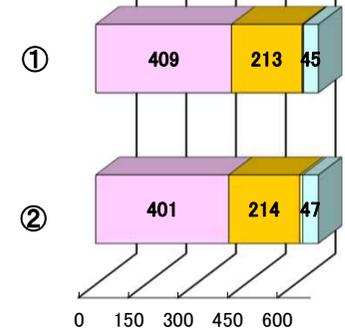
## Q2. 看護師について

	とても良い	良い	悪い	とても悪い	未記入	計
①マナー、身だしなみ等	365	265	11	6	24	671
	54.4%	39.5%	1.6%	0.9%	3.6%	100.0%
②不安や要望への返答	362	264	19	1	25	671
	53.9%	39.3%	2.8%	0.1%	3.7%	100.0%
③検査や治療の説明	344	282	19	2	24	671
	51.3%	42.0%	2.8%	0.3%	3.6%	100.0%
④ナースコールの対応	260	280	32	8	91	671
	38.7%	41.7%	4.8%	1.2%	13.6%	100.0%



## Q3. リハビリスタッフについて

	とても良い	良い	悪い	とても悪い	未記入	計
①マナー、身だしなみ等	409	213	3	1	45	671
	61.0%	31.7%	0.4%	0.1%	6.7%	100.0%
②不安や要望への返答	401	214	9	0	47	671
	59.8%	31.9%	1.3%	0.0%	7.0%	100.0%

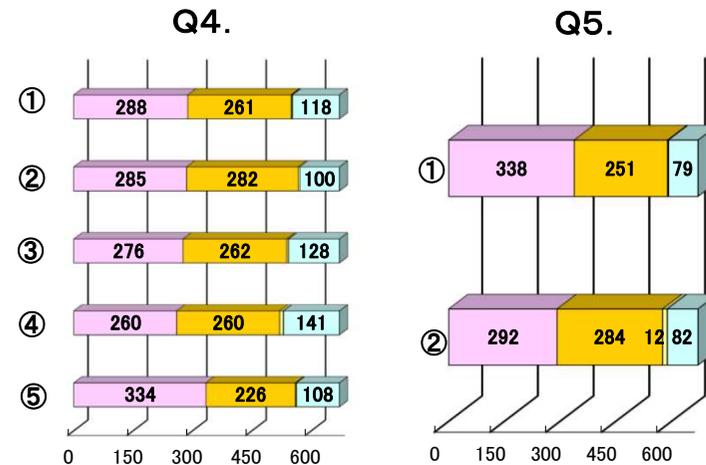


## Q4. 他の職種のマナー・態度・身だしなみについて

	とても良い	良い	悪い	とても悪い	未記入	計
①検査技師	288	261	2	2	118	671
	42.9%	38.9%	0.3%	0.3%	17.6%	100.0%
②事務員	285	282	4	0	100	671
	42.5%	42.0%	0.6%	0.0%	14.9%	100.0%
③薬剤師	276	262	4	1	128	671
	41.1%	39.0%	0.6%	0.1%	19.1%	100.0%
④栄養士	260	260	9	1	141	671
	38.7%	38.7%	1.3%	0.1%	21.0%	100.0%
⑤医療相談員	334	226	2	1	108	671
	49.8%	33.7%	0.3%	0.1%	16.1%	100.0%

## Q5. 設備について

	とても良い	良い	悪い	とても悪い	未記入	計
①院内の清潔	338	251	2	1	79	671
	50.4%	37.4%	0.3%	0.1%	11.8%	100.0%
②室内環境	292	284	12	1	82	671
	43.5%	42.3%	1.8%	0.1%	12.2%	100.0%



# 外来患者さんへのアンケート調査結果 (年間集計) 令和6年4月1日～令和7年3月31日

◎回答者数: 39名

## Q1. 病院について

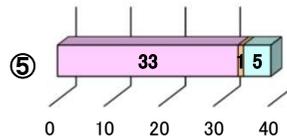
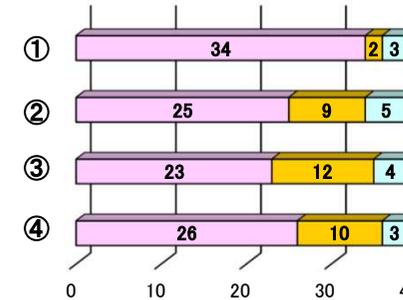
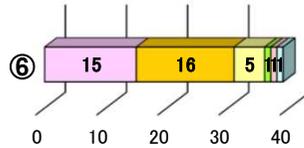
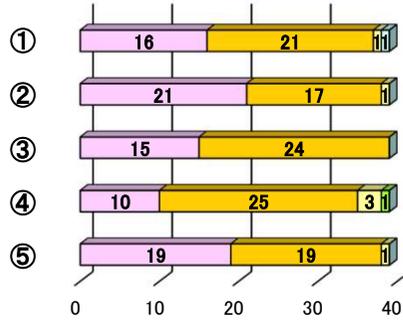
	とても良い	良い	悪い	とても悪い	未記入	計
①受診の流れ	16	21	1	0	1	39
	41.0%	53.8%	2.6%	0.0%	2.6%	100.0%
②院内の雰囲気 や快適性	21	17	1	0	0	39
	53.8%	43.6%	2.6%	0.0%	0.0%	100.0%
③プライバシー の配慮	15	24	0	0	0	39
	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
④診察までの 待ち時間	10	25	3	1	0	39
	25.6%	64.1%	7.7%	2.6%	0.0%	100.0%
⑤診察後～会計 の待ち時間	19	19	1	0	0	39
	48.7%	48.7%	2.6%	0.0%	0.0%	100.0%

	30分未満	30分～ 1時間	1時間～ 1時間30分	1時間30分 ～2時間	2時間以上	未記入	計
⑥外来受付～ 診察の待ち時間	15	16	5	1	1	1	39
	38.5%	41.0%	12.8%	2.6%	2.6%	2.6%	100.0%

## Q2. 医師について

	とても良い/ とても満足	良い/ まあまあ満足	悪い/ やや不満	とても悪い/ 不満	未記入	計
①医師の対応	34	2	0	0	3	39
	87.2%	5.1%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%
②不安や要望 への返答	25	9	0	0	5	39
	64.1%	23.1%	0.0%	0.0%	12.8%	100.0%
③検査や治療 の説明	23	12	0	0	4	39
	59.0%	30.8%	0.0%	0.0%	10.3%	100.0%
④質問・相談 のしやすさ	26	10	0	0	3	39
	66.7%	25.6%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%

	内科	脳外科	整形外科	脳神経内科	神経精神科	リハ科	未記入	計
⑤受診している科	33	0	0	0	0	1	5	39
	84.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	12.8%	100.0%



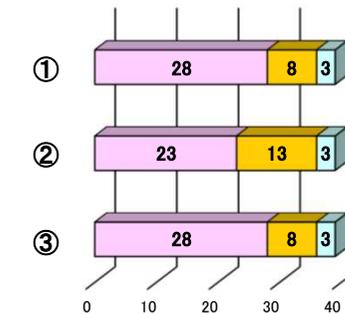
## Q3. 看護師・看護助手について

	とても良い/ とても満足	良い/ まあまあ満足	悪い/ やや不満	とても悪い/ 不満	未記入	計
①看護師等 の対応	28	8	0	0	3	39
	71.8%	20.5%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%
②不安や要望 への返答	23	13	0	0	3	39
	59.0%	33.3%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%
③検査や治療 の説明	28	8	0	0	3	39
	71.8%	20.5%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%

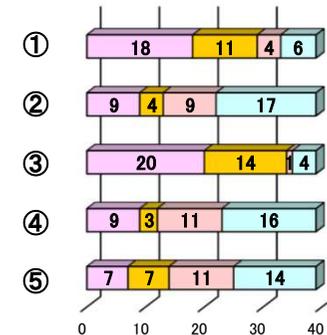
## Q4. 他の職種のスタッフの対応について

	とても良い	良い	悪い	とても悪い	わからない	未記入	計
①検査技師	18	11	0	0	4	6	39
	46.2%	28.2%	0.0%	0.0%	10.3%	15.4%	100.0%
②リハスタッフ	9	4	0	0	9	17	39
	23.1%	10.3%	0.0%	0.0%	23.1%	43.6%	100.0%
③事務員	20	14	0	0	1	4	39
	51.3%	35.9%	0.0%	0.0%	2.6%	10.3%	100.0%
④栄養士	9	3	0	0	11	16	39
	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	28.2%	41.0%	100.0%
⑤医療相談員	7	7	0	0	11	14	39
	17.9%	17.9%	0.0%	0.0%	28.2%	35.9%	100.0%

### Q3.



### Q4.



## レクリエーション委員会

### 1. 活動目的

本会は、一般財団法人黎明郷 職員間の交流を通じ、労働力の確保・定着・勤労意欲・能率の向上などの効果をもたらすことを目的とし、以下の活動をする。

- ・財団新入職員歓迎会に関する事。
- ・財団忘年会に関する事。
- ・ボウリング大会に関する事。
- ・その他、レクリエーション活動に関する事。

### 2. 構成員 ※令和7年3月末現在

委員長	清野 聡	(副院長)		
委員	川村 隆行	(診療放射線技師長)	臼井 健裕	(薬剤師)
	西澤 諒	(理学療法士)	古川 優希	(理学療法士)
	下澤 華奈	(看護師)	工藤 皓子	(看護師)
	工藤 和奏	(看護師)	武田 久子	(看護師)
	相馬 晴美	(准看護師)	工藤 夕花	(看護師)
	佐々木 静	(財務経理係)	後藤 拓哉	(庶務課主任代行)

### 3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和6年4月8日	新入職員歓迎会観桜会および納涼会の開催可否の検討
2	令和6年5月13日	納涼会の開催に関して報告
3	令和6年6月10日	納涼会の準備
4	令和6年7月8日	納涼会(1回目)の報告 納涼会(2回目)の準備
5	令和6年8月19日	納涼会(2回目)の報告
6	令和6年9月9日	忘年会の開催可否の検討 職員還元実施の検討
7	令和6年10月21日	忘年会の開催可否の検討
8	令和6年11月11日	忘年会の開催に関して報告 職員還元実施の決定
9	令和6年12月9日	職員還元実施の準備
10	令和7年1月20日	職員還元内容の決定 新入職員歓迎会観桜会に関する報告
11	令和7年2月10日	職員還元の準備 新入職員歓迎会観桜会に関する報告
12	令和7年3月10日	職員還元の報告 新入職員歓迎会観桜会の準備

#### 4. 活動要約

今年度は納涼会（2回に分けて実施）および職員還元企画を実施した。一方で、新型コロナウイルス感染症による病院機能停止のリスクを考慮し、昨年度に引き続き、新入職員歓迎会観桜会、ボウリング大会、忘年会を中止した。

近年、全国的に企業での宴会が再開される傾向にあり、近隣の医療機関でも忘年会を開催された事例が見られた。今後は、レクリエーション再開に向け財団と相談し、まずは新入職員歓迎会観桜会の開催について検討を進める。

令和7年9月1日発行

【編集】弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 広報委員会

委員長	佐々木 都子 (内科部長)
委員	中田 智子 (看護部長)
	算用子 暁美 (リハビリテーション部技師長)
	鳥谷部 翔 (薬剤師長)
	田中 結菜 (庶務課主任)
	三浦 智靖 (医事情報係)